

令和4年度

# 当初予算の概要

---

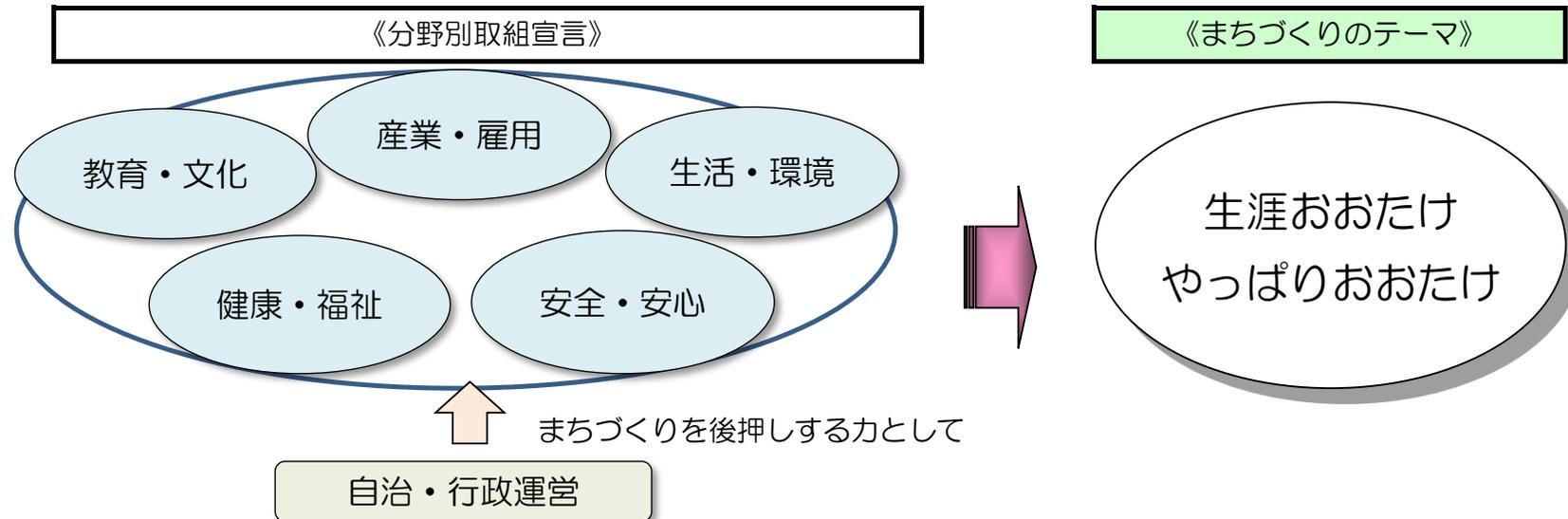
令和4年度 当初予算の基本的方向	1	当初予算主要事業	1 2
I 会計別当初予算の編成状況	2	1 教育・文化	1 4
II 一般会計当初予算の概要	4	2 産業・雇用	1 6
1 歳入の特徴	6	3 生活・環境	1 7
2 歳出の特徴	8	4 安全・安心	2 2
【一般会計当初予算グラフ】	9	5 健康・福祉	2 3
【資料編】	1 0	6 自治・行政運営	2 9
		◎ 令和4年度当初予算における （仮称）基地関連特別交付金充当事業	3 1
		◎ 令和4年度主要建設事業実施MAP	3 2
		◎ 各施設のご案内	3 3
		問い合わせ先一覧	3 6

---

大 竹 市

# 令和4年度当初予算の基本的方向

第1期大竹市まちづくり基本計画では、「生涯おおたけ やっぱりおおたけ」をまちづくりのテーマとして設定しています。未来にあふれる「8つの幸せ」の実現に向けた施策を展開していきます。



第2期大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、本市のまち・ひと・しごと創生に関する計画として、第1期基本計画と一体的に策定・推進するため、3つの基本目標を設定しています。



1. 誰もが健康で生きがいをもち、安心して暮らせる魅力的な地域を実現する
2. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
3. 地域経済を活性化し、安心して働ける魅力的な雇用の場を創出する

予算編成にあたっては、まちづくり基本構想に掲げる未来にあふれる「8つの幸せ」の実現に向けて、地方創生事業を推進するため、第2期大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる事業を盛り込んでいます。

## I 会計別当初予算の編成状況

一般会計の予算規模は、151億7,683万2千円で、前年度に比べ2.5%の減となりました。継続して進めていた「市立保育所等整備事業」等の普通建設事業の完了などが要因です。

7つの特別会計の合計は、68億367万円です。介護保険特別会計の保険給付費の増はあるものの、国民健康保険特別会計における被保険者の減等による給付費の減により、全体で前年度に比べ1.4%の減となりました。

一般会計と特別会計の合計は、219億8,050万2千円で、前年度に比べ2.2%の減となっています。

3つの企業会計の支出の合計は、45億9,247万1千円です。公共下水道事業会計の施設建設事業費の増などにより、前年度に比べ5.4%の増となっています。

一般会計、特別会計及び企業会計の合計は265億7,297万3千円で、前年度に比べ0.9%の減となっています。

### ◎◎◎ 会計別予算 ◎◎◎

単位：千円、%

	4年度	3年度	対前年度比	
			増減額	増減率
一般会計	15,176,832	15,563,577	▲ 386,745	▲ 2.5
特別会計	6,803,670	6,899,988	▲ 96,318	▲ 1.4
1 国民健康保険特別会計	3,130,019	3,316,569	▲ 186,550	▲ 5.6
2 漁業集落排水特別会計	40,954	46,494	▲ 5,540	▲ 11.9
3 農業集落排水特別会計	50,068	49,318	750	1.5
4 港湾施設管理受託特別会計	60,974	64,474	▲ 3,500	▲ 5.4
5 土地造成特別会計	287,868	290,934	▲ 3,066	▲ 1.1
6 介護保険特別会計	2,708,640	2,619,881	88,759	3.4
7 後期高齢者医療特別会計	525,147	512,318	12,829	2.5
合計	21,980,502	22,463,565	▲ 483,063	▲ 2.2

### 《企業会計》

単位：千円、%

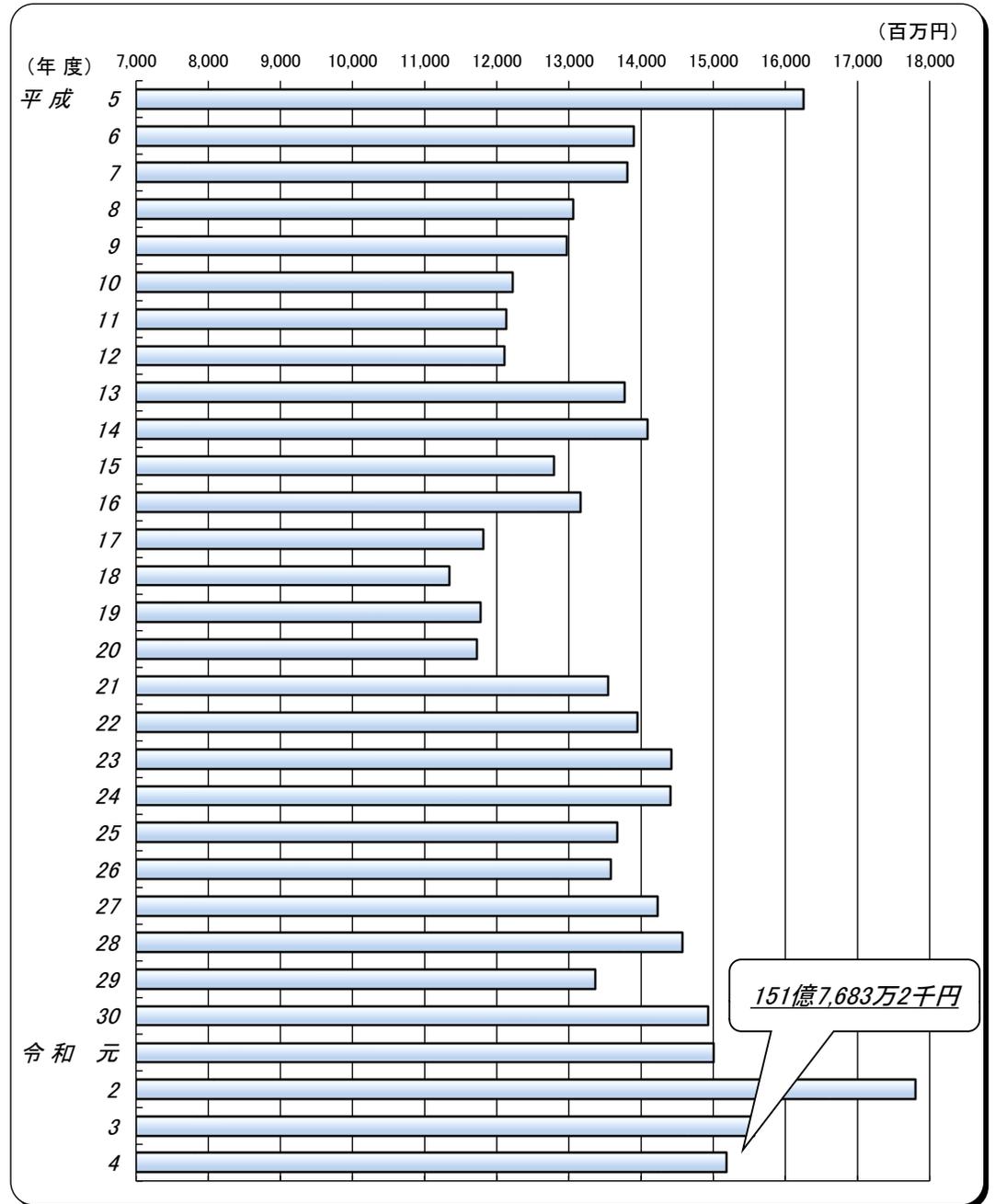
		4年度	3年度	対前年度比	
				増減額	増減率
水道事業会計					
収益的	収入	568,851	578,351	▲ 9,500	▲ 1.6
	支出	557,026	553,572	3,454	0.6
資本的	収入	241,172	247,504	▲ 6,332	▲ 2.6
	支出	750,318	779,743	▲ 29,425	▲ 3.8
工業用水道事業会計					
収益的	収入	550,941	551,097	▲ 156	▲ 0.0
	支出	441,665	459,586	▲ 17,921	▲ 3.9
資本的	収入	64,701	182,001	▲ 117,300	▲ 64.5
	支出	414,656	519,024	▲ 104,368	▲ 20.1
公共下水道事業会計					
収益的	収入	1,063,570	1,043,069	20,501	2.0
	支出	937,720	972,740	▲ 35,020	▲ 3.6
資本的	収入	1,275,729	1,182,032	93,697	7.9
	支出	1,491,086	1,073,316	417,770	38.9

【一般会計当初予算の推移】

単位：千円、%

年度	当初予算規模	対前年度伸び率	《参考》最終予算額
平成 5	16,241,853	15.5	17,242,949
6	13,889,956	▲ 14.5	13,870,385
7	13,803,861	▲ 0.6	14,581,664
8	13,048,192	▲ 5.5	14,050,875
9	12,965,635	▲ 0.6	13,223,610
10	12,211,020	▲ 5.8	14,427,535
11	12,121,383	▲ 0.7	14,456,844
12	12,102,194	▲ 0.2	12,324,258
13	13,761,143	13.7	15,373,572
14	14,087,867	2.4	14,265,959
15	12,786,158	▲ 9.2	12,032,324
16	13,148,777	2.8	13,364,554
17	11,803,360	▲ 10.2	12,440,260
18	11,338,627	▲ 3.9	11,692,281
19	11,770,193	3.8	12,269,904
20	11,716,260	▲ 0.5	12,798,330
21	13,541,552	15.6	15,270,309
22	13,939,452	2.9	14,545,921
23	14,417,001	3.4	14,995,090
24	14,400,188	▲ 0.1	14,999,838
25	13,669,310	▲ 5.1	14,068,289
26	13,572,848	▲ 0.7	14,008,526
27	14,224,130	4.8	15,106,127
28	14,572,914	2.5	15,776,748
29	13,357,606	▲ 8.3	14,399,043
30	14,924,608	11.7	15,770,518
令和 元	14,992,188	0.5	16,039,589
2	17,793,652	18.7	22,056,312
3	15,563,577	▲ 12.5	※ 18,399,332
4	15,176,832	▲ 2.5	—

※ 補正第10号までの予算額を計上



## Ⅱ 一般会計当初予算の概要

令和4年度は、「大竹駅周辺整備事業」などの継続事業に引き続きしっかりと取り組みます。また、「小方地区のまちづくり事業」「地域経済活性化事業」「不妊治療費助成事業」などの事業を実施します。

### 〔継続事業への取り組み〕

○「大竹駅周辺整備事業」は、引き続き自由通路や橋上駅の本体工事を行い、令和4年度中に橋上駅の開業と自由通路の供用を開始します。また、東口交通広場整備工事及び西口広場に隣接する市道の道路拡幅・無電柱化工事に着手します。また、自由通路の開通、広場の整備にあわせ、北栄南栄1号線道路改良、駅前油見線道路改築にも取り組みます。

○「阿多田フェリー新船建造事業」は、離島である阿多田島と小方港を結ぶフェリーの新船建造を行います。令和4年度に完成、令和5年度就航予定です。

○「大竹小学校プール建設事業」は、大竹小学校に小学校の児童と大竹中学校の生徒が共同で利用できる新たなプール施設を整備します。令和4年度は、両校の現プールの解体工事を行い、令和4年度から令和5年度にかけて、新たなプール施設の建設工事を行います。

### 〔小方地区のまちづくり事業への取り組み〕

「小方地区のまちづくり基本構想」の実現に向けて、にぎわい交流ゾーンなどへの民間事業者等による魅力的な施設の誘導を図るため、用途地域の見直し等を検討します。また、小方4号線の整備や晴海臨海公園整備を引き続き行い、現在建設中の民間美術館に接続する園路も整備します。

### 〔地域経済活性化事業への取り組み〕

市内中小事業者が、地域特性等を活かした商品の開発・改良や販路拡大等に取組む事業又は本市で新たに創業する者に対し、補助金を交付します。

### 〔不妊治療費助成事業への取り組み〕

令和4年4月から、これまで独自に助成していた特定不妊治療は保険適用となりますが、特定不妊治療に併せて行われる先進医療等の治療費(保険適用外)に対して、県が行う助成制度に上乘せして独自に助成します。

これらの事業を盛り込んだ予算規模は、前年度比2.5%減の151億7,683万2千円です。「市立保育所等整備事業(にじいるこども園)」など、継続事業の完了が減少の要因です。これらの事業の完了に伴い、市債の発行額も前年度より大幅に減少する見込みです。

また、令和4年度からの15年間(予定)、再編交付金に代わる新たな交付金制度が創設されることに伴い、「(仮称)基地関連特別交付金」を計上しています。

## ◎◎◎ 歳入予算(一般会計) ◎◎◎

単位:千円、%

	4年度		3年度	対前年度比	
		構成比		増減額	増減率
1 市 税	5,132,035	33.8	5,010,296	121,739	2.4
2 地 方 譲 与 税	76,881	0.5	75,645	1,236	1.6
3 利 子 割 交 付 金	3,853	0.0	3,587	266	7.4
4 配 当 割 交 付 金	15,192	0.1	15,108	84	0.6
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	20,496	0.1	14,486	6,010	41.5
6 法 人 事 業 税 交 付 金	60,716	0.4	48,182	12,534	26.0
7 地 方 消 費 税 交 付 金	611,757	4.0	624,482	▲ 12,725	▲ 2.0
8 環 境 性 能 割 交 付 金	11,485	0.1	10,581	904	8.5
9 地 方 特 例 交 付 金	33,882	0.2	52,382	▲ 18,500	▲ 35.3
10 地 方 交 付 税	1,896,224	12.5	1,601,699	294,525	18.4
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,131	0.0	3,155	▲ 24	▲ 0.8
12 分 担 金 及 び 負 担 金	139,495	0.9	145,115	▲ 5,620	▲ 3.9
13 使 用 料 及 び 手 数 料	292,361	1.9	287,442	4,919	1.7
14 国 庫 支 出 金	2,333,567	15.4	2,362,243	▲ 28,676	▲ 1.2
15 県 支 出 金	857,848	5.7	889,637	▲ 31,789	▲ 3.6
16 財 産 収 入	103,270	0.7	51,819	51,451	99.3
17 寄 附 金	605,004	4.0	330,004	275,000	83.3
18 繰 入 金	1,105,475	7.3	1,281,626	▲ 176,151	▲ 13.7
19 繰 越 金	1	0.0	1	0	0.0
20 諸 収 入	619,059	4.1	859,686	▲ 240,627	▲ 28.0
21 市 債	1,255,100	8.3	1,896,400	▲ 641,300	▲ 33.8
自動車取得税交付金	0	0.0	1	▲ 1	皆減
合 計	15,176,832	100.0	15,563,577	▲ 386,745	▲ 2.5

◎◎◎ 歳出予算(一般会計)(目的別内訳) ◎◎◎

単位:千円、%

	4年度	構成比	3年度	対前年度比	
				増減額	増減率
1 議会費	184,552	1.2	186,362	▲ 1,810	▲ 1.0
2 総務費	2,393,098	15.8	2,163,128	229,970	10.6
3 民生費	4,606,784	30.4	5,246,262	▲ 639,478	▲ 12.2
4 衛生費	1,110,076	7.3	1,089,182	20,894	1.9
5 労働費	120,080	0.8	120,100	▲ 20	▲ 0.0
6 農林水産業費	245,713	1.6	270,963	▲ 25,250	▲ 9.3
7 商工費	234,172	1.5	264,516	▲ 30,344	▲ 11.5
8 土木費	2,623,845	17.3	2,949,728	▲ 325,883	▲ 11.0
9 消防費	495,027	3.3	501,650	▲ 6,623	▲ 1.3
10 教育費	1,264,717	8.3	972,636	292,081	30.0
11 災害復旧費	17,004	0.1	5	16,999	339,980.0
12 公債費	1,861,764	12.3	1,779,045	82,719	4.6
13 予備費	20,000	0.1	20,000	0	0.0
合計	15,176,832	100.0	15,563,577	▲ 386,745	▲ 2.5

▼▲▼ 歳出の性質別分析(一般会計)▼▲▼

単位:千円、%

	4年度	構成比	3年度	対前年度比	
				増減額	増減率
人件費	2,665,147	17.5	2,706,930	▲ 41,783	▲ 1.5
扶助費	2,533,972	16.7	2,378,678	155,294	6.5
公債費	1,861,764	12.3	1,779,045	82,719	4.6
義務的経費計	7,060,883	46.5	6,864,653	196,230	2.9
普通建設事業費	2,256,598	14.9	3,134,529	▲ 877,931	▲ 28.0
うち補助事業	1,265,430	8.4	1,504,332	▲ 238,902	▲ 15.9
うち単独事業	991,168	6.5	1,630,197	▲ 639,029	▲ 39.2
災害復旧事業費	17,004	0.1	5	16,999	339,980.0
投資的経費計	2,273,602	15.0	3,134,534	▲ 860,932	▲ 27.5
物件費	2,151,874	14.2	1,969,721	182,153	9.2
維持補修費	145,147	0.9	135,412	9,735	7.2
補助費等	983,456	6.5	979,408	4,048	0.4
繰出金	1,483,205	9.8	1,462,748	20,457	1.4
出資金・貸付金	345,669	2.3	345,881	▲ 212	▲ 0.1
積立金	712,996	4.7	651,220	61,776	9.5
予備費	20,000	0.1	20,000	0	0.0
その他の経費計	5,842,347	38.5	5,564,390	277,957	5.0
合計	15,176,832	100.0	15,563,577	▲ 386,745	▲ 2.5

# 1 歳入の特徴

【市 税】 対前年度 121.7百万円増(+2.4%)

単位:百万円、%

◎ 市税は、個人市民税が若干減となるものの、全体では前年度比2.4%(121.7百万円)の増となる見込みです。

	4年度	3年度	増減率
市民税(個人)	1,265.7	1,270.9	▲ 0.4
(法人)	266.6	243.5	9.5
固定資産税	3,172.8	3,093.5	2.6
軽自動車税	73.6	69.1	6.5
市たばこ税	202.8	188.4	7.6
都市計画税	150.5	144.9	3.9
市税合計	5,132.0	5,010.3	2.4

※資料編(P10)に市税収入の推移のグラフあり

◎ 法人市民税は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下でも想定以上に落ち込まなかった前年度を踏まえ、前年度比9.5%(23.1百万円)の増となる見込みです。

◎ 固定資産税は、家屋の新築による増、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特例措置の終了等により、前年度比2.6%(79.3百万円)の増となる見込みです。

【地方交付税・臨時財政対策債】 対前年度 11.3百万円減(▲0.6%)

単位:百万円、%

◎ 国の示した令和4年度の地方財政計画では、地方交付税は前年度比3.5%の増となり、臨時財政対策債は、67.5%の減となっています。

	4年度	3年度	増減率
地方交付税	1,896.2	1,601.7	18.4
うち普通交付税	1,439.6	1,137.0	26.6
臨時財政対策債	328.3	642.2	▲ 48.9
合計	1,767.9	1,779.2	▲ 0.6

※合計は、普通交付税と臨時財政対策債の合計

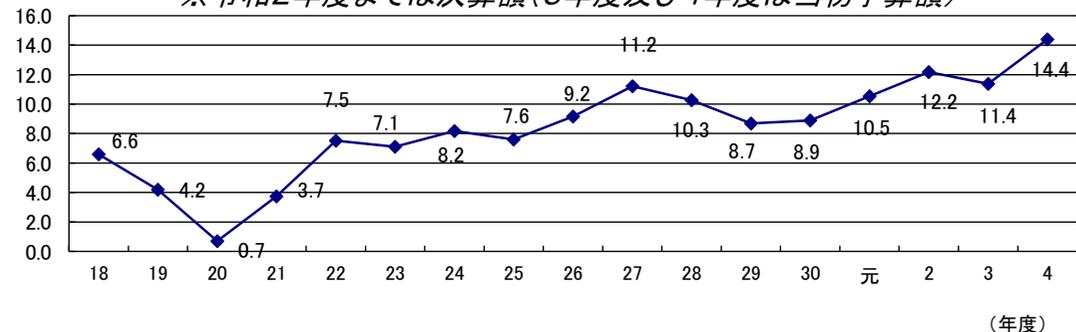
◎ 大竹市の普通交付税と臨時財政対策債の合計は、臨時財政対策債の発行抑制等により前年度に比べ0.6%(11.3百万円)の減を見込んでいます。



(億円)

(参考) 普通交付税の推移

※令和2年度までは決算額(3年度及び4年度は当初予算額)



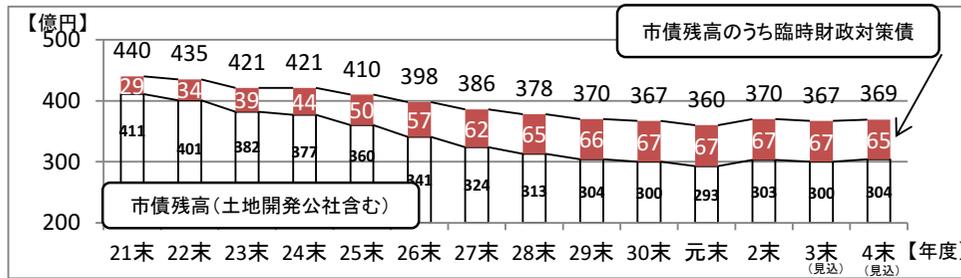
【市 債】 対前年度 641.3百万円減(▲33.8%)

単位:百万円、%

◎ 「市立保育所等整備事業」などの継続事業の完了や、臨時財政対策債の発行抑制により、市債発行額は大きく減少し、前年度比33.8%の減となりました。なお、土地開発公社を含めた市債残高の合計は、令和4年度末で369億円で前年度より若干増加する見込みです。

	4年度	3年度	増減率
通常債(建設債)	926.8	1,254.2	▲ 26.1
臨時財政対策債	328.3	642.2	▲ 48.9
市債合計	1,255.1	1,896.4	▲ 33.8

※資料編(P11)に市債発行額(普通会計),市債残高(普通会計)の推移のグラフあり



【基金繰入金】 対前年度 176.7百万円減(▲13.9%)

単位:百万円、%

◎ 「市の純粋な貯蓄」というべき財政調整基金と減債基金の残高合計は、令和2年度末で約1,531.8百万円です。なお、令和4年度当初予算では、昨年度より増加し、合計で398.9百万円の取り崩しを見込んでいます。

	4年度	3年度	増減率
財政調整基金	200.0	200.0	0.0
減債基金	198.9	130.3	52.6
その他の基金	697.1	942.4	▲ 26.0
基金繰入金合計	1,096.0	1,272.7	▲ 13.9

※資料編(P10)に財政調整基金残高の推移のグラフあり

- ◎ 市債発行の抑制のため、大規模事業に備えてこれまで積み立ててきた地方創生事業基金を繰り入れます。
- ◎ 再編交付金及び令和4年度から15年間交付される予定の(仮称)基地関連特別交付金をもとに積み立てた各種基金(阿多田診療所基金、にこにこども基金、健やか安心基金、教育環境充実基金、公共交通活性化基金、あたたかあたた基金)からの繰入金は、265.2百万円(前年度比37.3%減)を予定しています。これまでの再編交付金同様、(仮称)基地関連特別交付金についても、将来に備え、令和4年度の積み立てを予定しています。(再編交付金に係る令和2年度末基金残高合計 1,376.3百万円)

【その他の主な歳入の増減】

国庫支出金 〔増の要因〕 ・(仮称)基地関連特別交付金の皆増(+397百万円)  
 ・離島航路構造改革国庫補助金の増(+72百万円)  
 ・道路メンテナンス事業国庫補助金の皆増(+70百万円)  
 ・施設型給付等国庫負担金の増(+49百万円)  
 28.7百万円減 (▲1.2%)

〔減の要因〕 ・社会資本整備総合交付金の減(▲263百万円)  
 ・再編交付金の皆減(▲260百万円)  
 ・保育所等整備交付金の皆減(▲139百万円)  
 ・認定こども園施設整備交付金の皆減(▲22百万円)

県支出金 〔増の要因〕 ・地域医療介護総合確保事業補助金の皆増(+41百万円)  
 ・施設型給付等県負担金の増(+22百万円)  
 31.8百万円減 (▲3.6%)

〔減の要因〕 ・未来の地域づくり応援交付金の皆減(▲66百万円)  
 ・衆議院議員選挙費県負担金の皆減(▲19百万円)  
 ・広島県知事選挙費県負担金の皆減(▲18百万円)

諸収入 〔減の要因〕 ・旧穂仁原小学校等関係補償費の皆減(▲200百万円)  
 ・御園第1公園移転補償費の皆減(▲21百万円)  
 240.6百万円減 (▲28.0%)

市債 〔増の要因〕 ・船舶建造事業債の増(+207百万円)  
 ・港湾改修事業債の増(+110百万円)  
 ・農業用施設災害復旧事業債の皆増(+18百万円)  
 641.3百万円減 (▲33.8%)

〔減の要因〕 ・市立保育所等整備事業債の減(▲390百万円)  
 ・臨時財政対策債の減(▲314百万円)  
 ・大竹駅周辺整備事業債の減(▲133百万円)  
 ・河川水路改良事業債の減(▲96百万円)  
 ・市営住宅改修事業債の減(▲36百万円)

## 2 歳出の特徴 《性質別分析》

【義務的経費】 対前年度 196.3百万円増(+2.9%)

単位:百万円、%

◎ 扶助費は、認定こども園の新設による施設型給付費の増などにより、前年度と比べ6.5%(155.3百万円)の増となっています。

◎ 公債費は、平成30年度に発行した「可燃ごみ広域処理事業債」の元金償還が始まることから、前年度比4.7%(82.8百万円)の増となっています。

	4年度	3年度	増減率
人件費	2,665.1	2,706.9	▲ 1.5
扶助費	2,534.0	2,378.7	6.5
公債費	1,861.8	1,779.0	4.7
義務的経費計	7,060.9	6,864.6	2.9

※資料編(P10, 11)に人件費及び公債費の推移のグラフあり

【投資的経費】 対前年度 860.9百万円減(▲27.5%)

単位:百万円、%

◎ 投資的経費は、「市立保育所等整備事業」など、継続事業の完了により大きく減少し、前年度比27.5%(860.9百万円)の減となっています。

	4年度	3年度	増減率
普通建設事業費	2,273.6	3,134.5	▲ 27.5
うち補助事業	1,265.4	1,504.3	▲ 15.9
うち単独事業	991.2	1,630.2	▲ 39.2
災害復旧事業費	17.0	0.0	皆増

※資料編(P11)に投資的経費の推移のグラフあり

◎ 投資的事業の財源については、後年度の負担が過度に増加しないよう、これまで積み立ててきた地方創生事業基金(210.8百万円)を繰り入れ、市債の発行を抑制しています。



## 《目的別内訳》

議会費 [減の要因] ・議場内カメラ改修事業費の皆減(▲0.9百万円)

1.8百万円減  
(▲1.0%)

総務費 [増の要因] ・船舶建造事業費の増(+263百万円)

230.0百万円増  
(+10.6%)

民生費 [増の要因] ・施設型給付事業費の増(+96百万円)  
・にこにここども基金積立金の増(+69百万円)

639.5百万円減  
(▲12.2%)

[減の要因] ・市立保育所等整備事業費の減(▲721百万円)  
・私立保育所等委託事業費の減(▲204百万円)

衛生費 [増の要因] ・健やか安心基金積立金の増(+54百万円)

20.9百万円増  
(+1.9%)

・ごみ処理場維持管理事業費の増(+39百万円)  
・し尿処理場整備事業費の増(+33百万円)

[減の要因] ・阿多田診療所基金積立金の減(▲98百万円)

労働費

2千円減  
(±0.0%)

農林水産業費 [減の要因] ・漁港施設維持管理事業費の減(▲39百万円)

25.3百万円減  
(▲9.3%)

商工費 [減の要因] ・産業振興奨励金の減(▲39百万円)

30.3百万円減  
(▲11.5%)

土木費 [増の要因] ・港湾施設の修築・改良事業費の増(+126百万円)  
・橋りょう長寿命化事業費の増(+93百万円)

325.9百万円減  
(▲11.0%)

[減の要因] ・大竹駅周辺整備事業費の減(▲336百万円)  
・河川・水路改良保全事業費の減(▲68百万円)  
・小方ヶ丘緑地安全対策事業費の皆減(▲41百万円)

消防費 [減の要因] ・消防団積載車整備事業費の皆減

6.6百万円減  
(▲1.3%)

(▲8百万円)

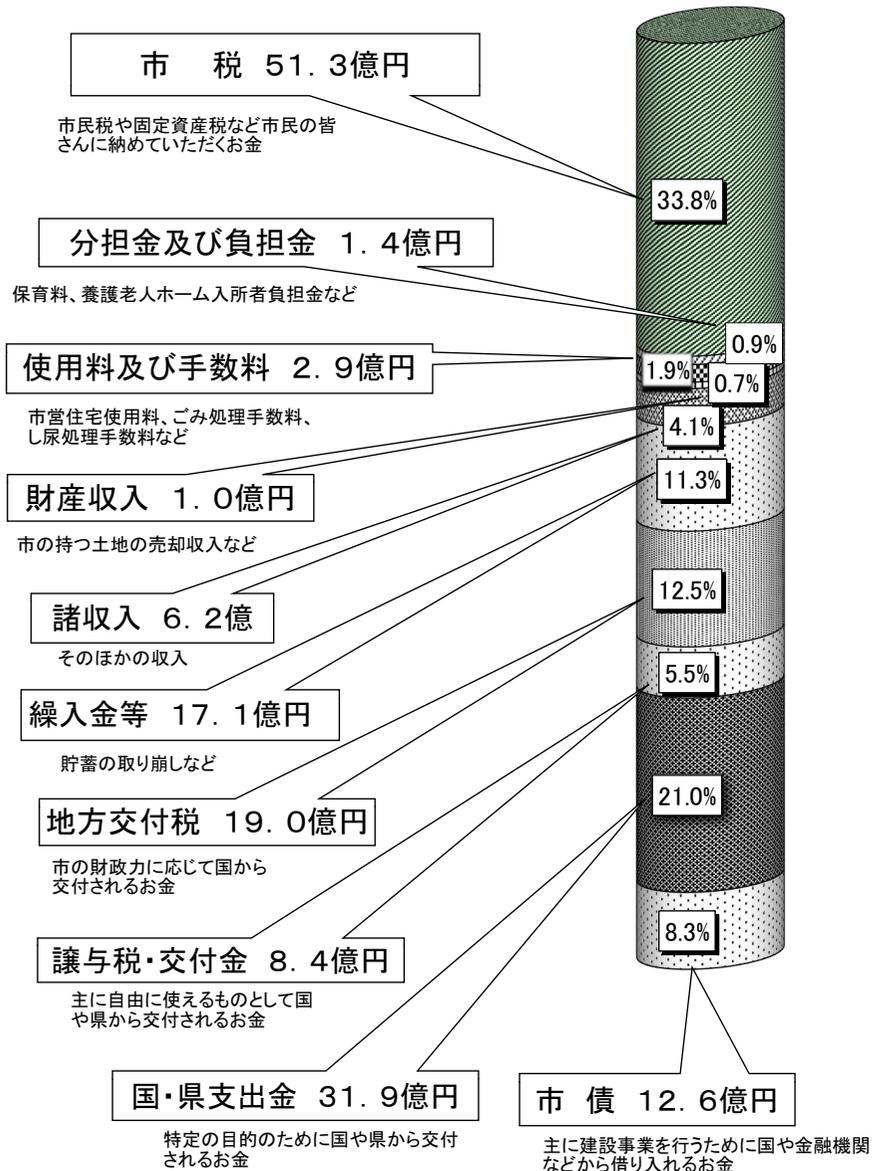
教育費 [増の要因] ・大竹小学校プール整備事業費の増

292.1百万円増  
(+30.0%)

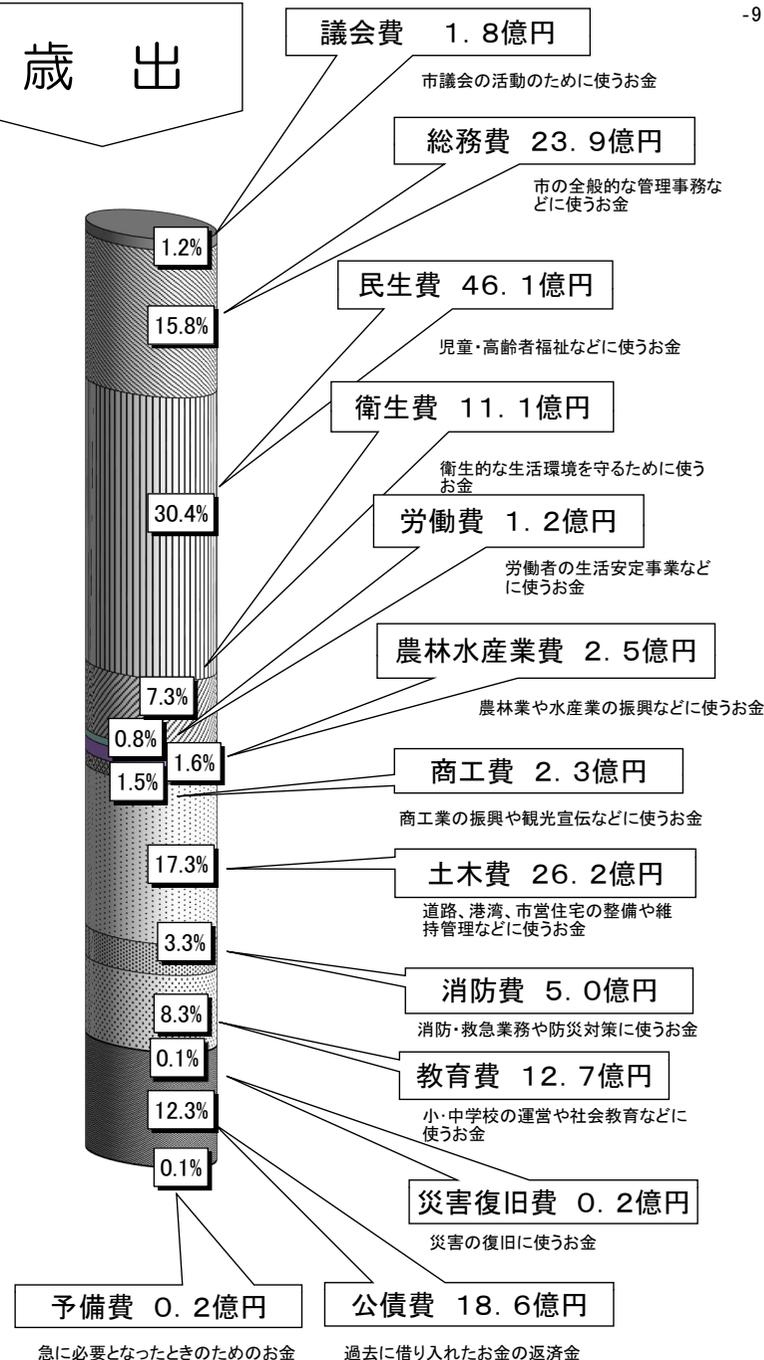
(+270百万円(教育環境充実基金積立金の増も含む))

# 一般会計当初予算 総額 151.8億円

## 歳入

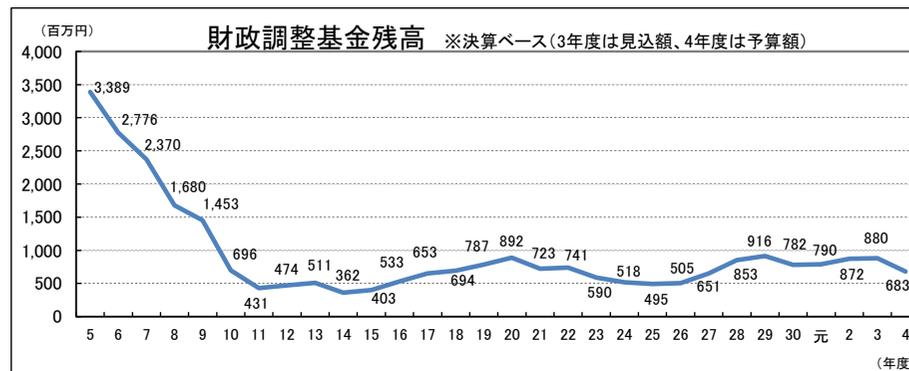
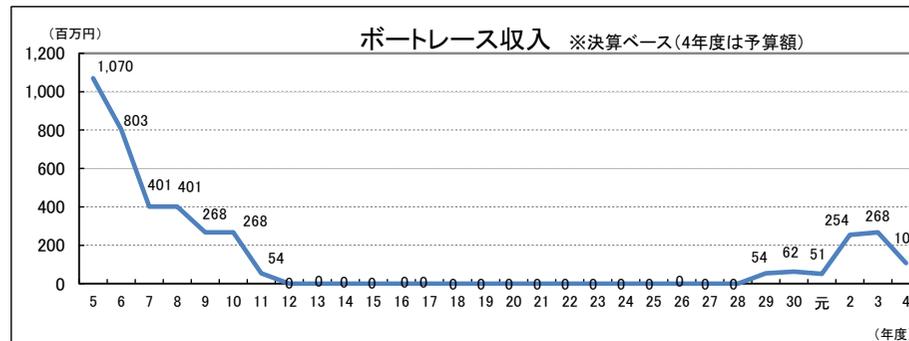
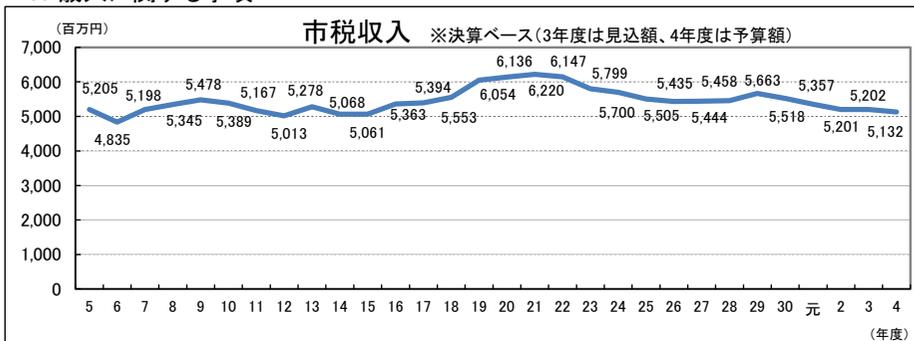


## 歳出

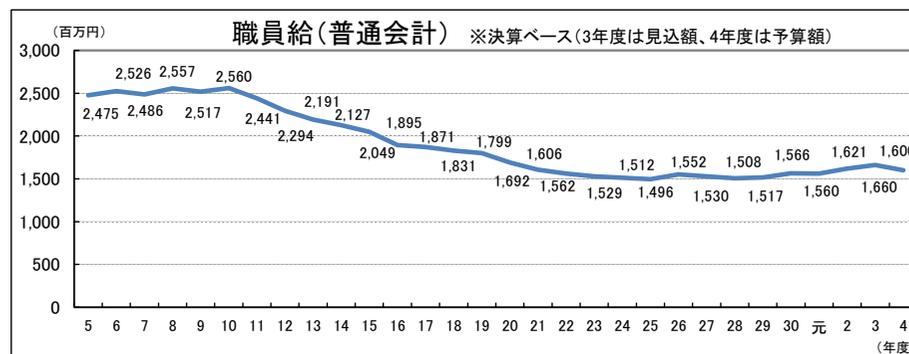
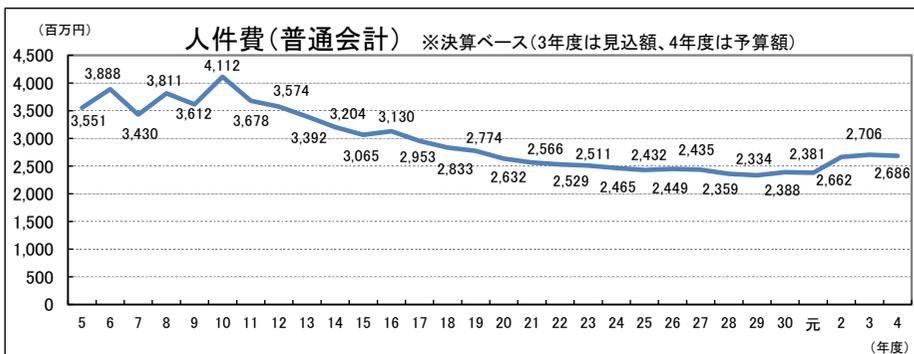


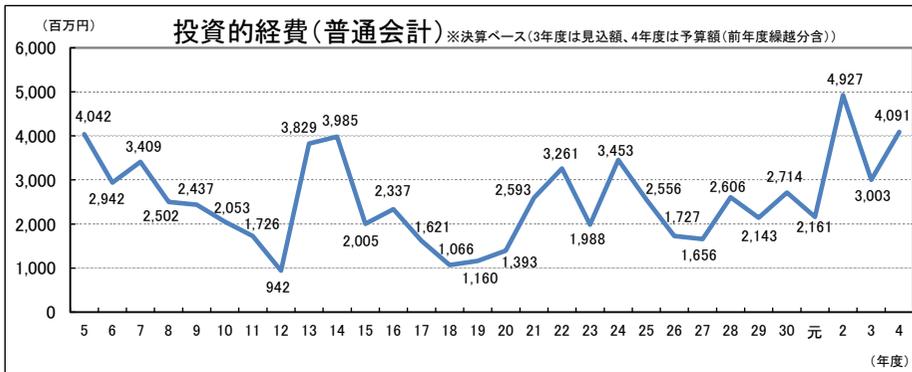
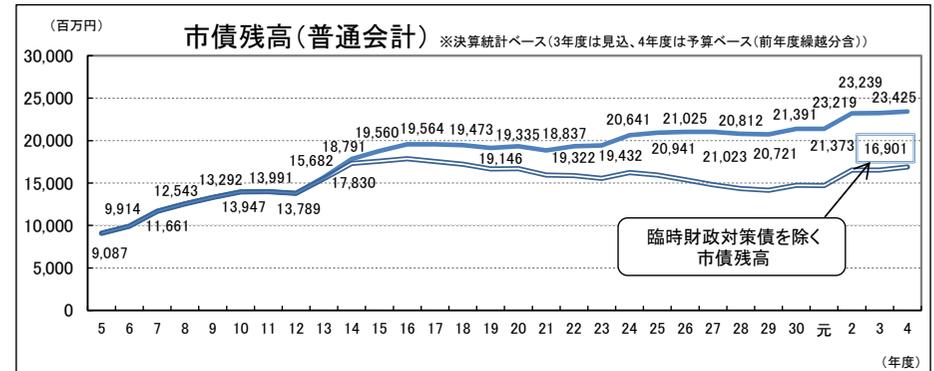
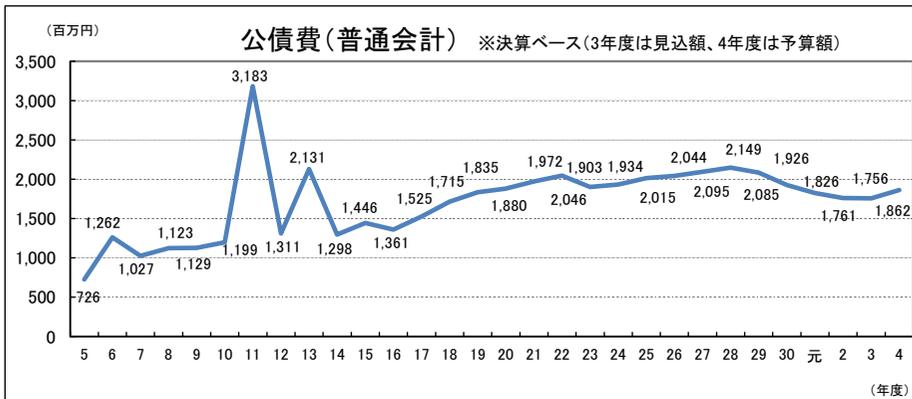
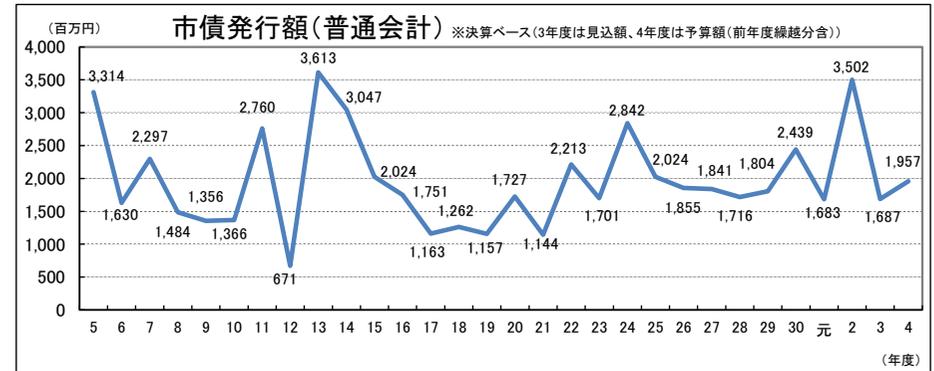
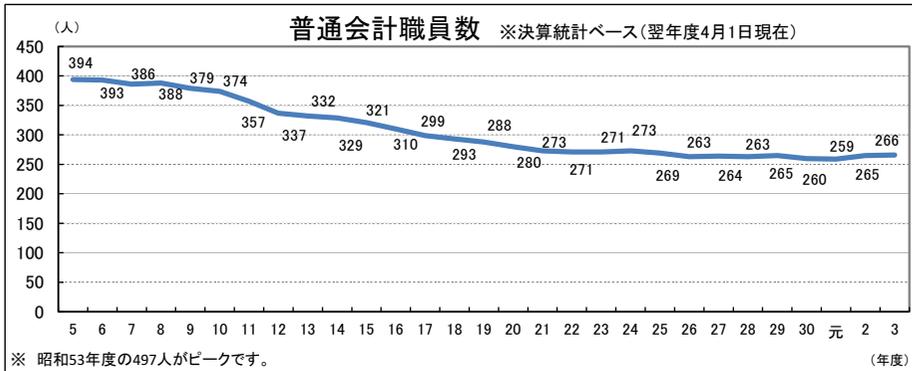
## 当初予算の概要 資料編(平成5年度～)

### 1. 歳入に関する事項

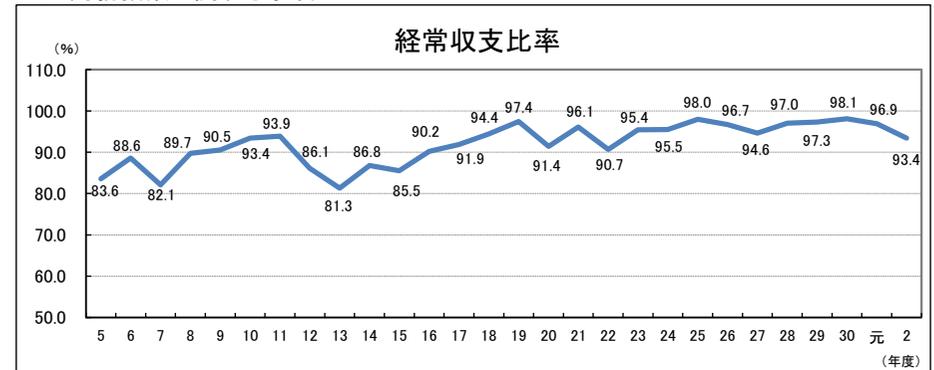


### 2. 歳出に関する事項





### 3. 財務指数に関する事項



# 当初予算主要事業

事業名に 新規 …… 令和4年度に新規に行う事業です。  
事業名に 拡充 …… 制度などが前年度と比較し拡充される事業です。

## 1 教育・文化 238,239 千円

### 1 子どもの学びと成長を支える教育の充実

	奨学金貸付事業	10,553 千円
	こども相談室運営事業	8,066 千円
拡充	小・中学校管理運営事業 (大竹小学校プール建設事業)	118,430 千円
拡充	小・中学校教育振興事業 (ICT支援員配置事業)	10,000 千円
拡充	小・中学校教育支援事業 (オンライン学習通信費援助事業)	2,397 千円
	学習環境サポート・読書活動推進事業 (小学校費)	12,823 千円
		(中学校費) 7,042 千円
	中学校教育振興事業 (英語力向上事業)	838 千円
	学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後児童クラブ運営事業)	62,632 千円
	学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後子ども教室事業)	3,000 千円

### 2 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進

新規	総合市民会館改修事業	1,958 千円
----	------------	----------

### 3 まちへの愛着と誇りを育む歴史・文化の保存・継承の推進

	文化財保護事業 (文化財等普及啓発事業)	500 千円
--	----------------------	--------

## 2 産業・雇用 13,851 千円

### 1 地域経済の元気と成長を支える商工業の振興

	商工振興事業 (産業振興奨励事業)	2,564 千円
新規	中小企業経営安定支援事業 (地域経済活性化補助事業)	8,500 千円

### 2 暮らしの基盤となる雇用促進と労働者・消費者支援

	消費生活相談事業	2,787 千円
--	----------	----------

## 3 生活・環境 1,674,656 千円

### 1 快適で魅力的な都市空間の創造

新規	地籍再調査事業	1,510 千円
新規	小方地区のまちづくり事業	8,000 千円
	立地適正化計画策定事業	8,920 千円
	大竹駅周辺整備事業 (大竹駅自由通路壁面装飾タイル作成事業)	2,400 千円
	大竹駅周辺整備事業	737,811 千円
新規	駅前油見線改築事業	4,200 千円

### 2 きれいで利便性の高い道路環境の創造

拡充	橋りょう長寿命化事業	128,000 千円
	道路・橋りょう維持事業	23,000 千円
拡充	道路・橋りょう新設、改良事業	40,036 千円
	県道等整備事業	5,520 千円
	岩国大竹道路建設事業	- 千円

### 3 生活を支える公共交通の充実

	地域公共交通整備事業	89,584 千円
--	------------	-----------

4	まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備		
	漁港施設維持管理事業	23,000	千円
	港湾施設の修築・改良事業	142,167	千円
5	住みよさと安心を生む住宅政策		
拡充	空家対策事業	7,232	千円
	住宅改修等補助事業	9,984	千円
6	楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備		
新規	穂仁原地区水辺の広場整備事業	25,000	千円
拡充	晴海臨海公園整備事業	113,000	千円
7	暮らしを支える上下水道の整備		
	【公共下水道事業会計】		
	大竹下水処理場共同処理整備事業 (し尿等受入施設整備)	73,000	千円
	大竹下水処理場改築更新事業	198,000	千円
8	環境にやさしい持続可能なまちづくり		
	地域不法投棄対策事業	8,774	千円
	環境衛生推進事業	5,564	千円
	ごみ減量化・資源化促進事業	6,955	千円
	環境学習事業	5,630	千円
	ひろしまの森づくり事業	7,369	千円
4	安全・安心	589,701	千円
1	自然災害やさまざまな危機に強いまちづくり		
	一般河川(水路)浚渫事業	65,000	千円
	急傾斜地崩壊対策事業(市)	29,959	千円
	急傾斜地崩壊対策事業(県)	10,250	千円
	自主防災組織育成指導事業	1,328	千円
拡充	小島雨水排水ポンプ場等改築更新事業	474,730	千円
2	市民の命を守る消防体制の充実		
新規	消防団活動推進事業・消防団資機材整備事業 (消防団活動服・搬送車(人員・資機材)整備事業)	8,434	千円

5	健康・福祉	1,296,889	千円
1	生きがいに満ちた高齢者の暮らしの支援		
	高齢者離島対策事業(介護サービス利用支援事業)	599	千円
新規	介護施設整備等補助事業	41,151	千円
2	子どもと子育てを支える体制の充実		
	子育て短期支援事業	189	千円
	未就学児等離島対策事業	176	千円
	こども医療費助成事業	127,621	千円
新規	市立保育所等整備事業(大竹・本町統合)	23,210	千円
	病児保育運営委託事業	12,124	千円
	児童福祉相談事業	8,187	千円
	子育て支援センター等運営管理事業	25,613	千円
	利用者支援事業(ネウボラ)	8,885	千円
新規	母子保健指導事業(視覚検査機器購入事業)	1,375	千円
3	障害のある人が自分らしく生きるための支援		
	障害者等自立支援給付事業	586,064	千円
4	見守り支え合う地域福祉の推進		
	生活困窮者自立支援事業	19,834	千円
	地域見守り活動事業	502	千円
	地域福祉担い手育成事業	17,602	千円
	地域支援事業	183,418	千円
5	元気・健康・安心をつくる保健・医療体制の充実		
	医療体制支援事業(救急相談センター運営事業)	798	千円
	産科医療施設人材確保支援事業	98	千円
	予防接種推進事業	95,608	千円
	妊産婦歯科健康診査事業	948	千円
	妊婦乳幼児健康診査事業	18,932	千円
拡充	不妊治療費助成事業	2,123	千円
	健康づくり推進事業	121,832	千円

## 6 自治・行政運営 413,319 千円

### 1 市民と行政の協働による地域づくり

協働のまちづくり推進事業	1,000 千円
地域活動促進事業	23,125 千円

### 2 将来を見据えた計画的で効率的な行財政運営

新規 議事録作成事業（DX）	660 千円
拡充 市税賦課徴収事業 （基幹業務システム改修事業）	2,280 千円
戸籍住民基本台帳事務（証明書コンビニ交付事業）	7,368 千円

### 3 公営企業などの健全な経営

拡充 地域公共交通整備事業 （阿多田フェリー新船建造事業）	362,030 千円
土地開発公社経営健全化対策事業	10,565 千円
【水道・公共下水道事業会計】 料金・使用料改定事業	6,291 千円



人口減少の克服と地方創生を実現するため、大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定している、3つの基本目標を達成するための事業には、左の、おたけPRキャラクター「コイちゃん」が付いています。

まち 誰もが健康で生きがいをもち、安心して暮らせる魅力的な地域を実現する

ひと 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

しごと 地域経済を活性化し、安心して働ける魅力的な雇用の場を創出する

# 1 教育・文化

## 1 子どもの学びと成長を支える教育の充実

### 奨学金貸付事業



10,553 千円 予算書 170~171 ページ 《 担当 総務学事課 》

経済的な理由により修学の機会がなくなることを防ぐよう、学資の貸付を行います。

平成24年度から、市内に一定期間居住することを要件とした奨学金の返還免除制度を導入しています。

### こども相談室運営事業

8,066 千円 予算書 171~172 ページ 《 担当 総務学事課 》

家庭等で問題を抱えながら生活をしている子ども・保護者等に対し、幼児期から青年期まで一貫した相談を実施できる場所を提供するとともに、不登校の児童・生徒に対し、学習・生活面での支援を行い社会的自立への基礎を培います。

※ 33 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

**拡充** 小・中学校管理運営事業 (大竹小学校プール建設事業)

118,430 千円 予算書 173~174 ページ 《 担当 総務学事課 》

老朽化している大竹小学校と大竹中学校のプール施設を解体し、大竹小学校に児童と生徒が共同で使用できる新たなプール施設を整備します。

令和4年度は、両校の現プールの解体工事を行い、令和4年度から令和5年度にかけて、新たなプール施設の建設工事を行います。

(小学校：108,170千円、中学校：10,260千円)

※ 32 ページの「令和4年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

**拡充** 小・中学校教育振興事業 (ICT支援員配置事業)



10,000 千円 予算書 174,177 ページ 《 担当 総務学事課 》

児童生徒の情報活用能力を高め、多様な問題を解決できる能力の育成を目指すため、1人1台端末を授業等で活用しています。そのために必要となる教員のICT機器活用力の向上、機器の不具合への対応、情報セキュリティ対策の強化等のため、専門的な知識をもつICT支援員を配置します。

**拡充** 小・中学校教育支援事業 (オンライン学習通信費援助事業)



2,397 千円 予算書 175,178 ページ 《 担当 総務学事課 》

学習用端末を持ち帰り、家庭においても活用するために、通信環境未整備の世帯にモバイルWi-Fiルータの貸出を行う（契約及び通信料は保護者負担）とともに、就学援助世帯等については通信費の一部を援助します。中学生とあわせて、令和4年度は新たに小学5・6年生も持ち帰り学習を開始します。

学習環境サポート・読書活動推進事業

12,823 千円 予算書 175 ページ

7,042 千円 予算書 178 ページ 《 担当 総務学事課 》

通常の学級に在籍する発達障害などのある児童・生徒へのサポートのため「学級支援員」を配置し、個に応じたきめ細やかな支援を行います。

学校図書館に読書や学習活動を支援する「読書活動推進員」を配置し、幅広い視野を持った心豊かな児童・生徒を育成します。

中学校教育振興事業 (英語力向上事業)



838 千円 予算書 177 ページ 《 担当 総務学事課 》

日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料を、市内の中学校に通う中学3年生を対象に全額助成（年1回）します。中学卒業までに取得する目標の級を定めることで、中学生全体の英語力の向上を目指します。

学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後児童クラブ運営事業)



62,632 千円 予算書 182~183 ページ 《 担当 生涯学習課 》

放課後や長期休暇中などに、保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に対して、「放課後児童クラブ」において適切な「遊びの場」や「生活の場」を提供することで、児童の健全な育成と保護者の仕事と子育ての両立を支援します。

※ 33 ページの「各施設のご案内」をご覧ください



## 学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後子ども教室事業)

3,000 千円 予算書 183 ページ 《 担当 生涯学習課 》

放課後、週末及び長期休暇中における子どもたちの有意義な活動拠点（居場所）を確保するため、地域学校協働本部が核となって地域や各種団体等と連携し、学校や公民館等を活用して様々な体験活動や学習機会の場を児童に提供します。

### 2 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進

新規

## 総合市民会館改修事業

1,958 千円 予算書 185 ページ 《 担当 生涯学習課 》

総合体育館2階（武道場）屋上部分のトップライト周辺の防水機能劣化に伴い、防水改修等を行います。

### 3 まちへの愛着と誇りを育む歴史・文化の保存・継承の推進



## 文化財保護事業（文化財等普及啓発事業）

500 千円 予算書 182 ページ 《 担当 生涯学習課 》

市内の史跡等について、より多くの方に関心を持ってもらうとともに本市の歴史を学ぶ機会を提供するため、令和4年度は、岩国大竹道路建設に伴って出土した「亀居城跡妙見丸」の石垣の説明看板及び西国街道大竹路の案内板設置を、大竹市歴史研究会と連携して取り組みます。

# 2 産業・雇用

## 1 地域経済の元気と成長を支える商工業の振興



## 商工振興事業（産業振興奨励事業）

2,564 千円 予算書 134 ページ 《 担当 産業振興課 》

新たな投資を行った市内の商工業者に奨励金を交付することにより、商工業者の投資意欲を高めるなど、市内産業の振興を図ります。

新規

## 中小企業経営安定支援事業 (地域経済活性化補助事業)

8,500 千円 予算書 135 ページ 《 担当 産業振興課 》

市内中小事業者が、地域特性等を活かした商品の開発・改良や販路拡大等に取り組む事業又は、本市で新たに創業する者に補助金を交付し、本市の魅力の発信と地域経済の活性化を図ります。

## 2 暮らしの基盤となる雇用促進と労働者・消費者支援

## 消費生活相談事業

2,787 千円 予算書 133~134 ページ 《 担当 産業振興課 》

多様化する消費生活トラブルの未然防止及び消費者被害の救済を図ります。

※ 34 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

# 3 生活・環境

## 1 快適で魅力的な都市空間の創造

### 新規 地籍再調査事業

1,510 千円 予算書 139~140 ページ 《 担当 土木課 》

現況と公図が異なる地図混乱地域を解消するための地籍再調査の実施に向けて、調査・研究を行います。

### 新規 小方地区のまちづくり事業

8,000 千円 予算書 151 ページ 《 担当 都市計画課 》

「小方地区のまちづくり基本構想」の実現に向けて、にぎわい交流ゾーンなどへの民間事業者等による魅力的な施設の誘導を図るため、用途地域の見直し等を検討します。

### 立地適正化計画策定事業

8,920 千円 予算書 151 ページ 《 担当 都市計画課 》

居住や福祉・医療・商業・公共交通等の様々な都市機能の誘導により、生活サービス機能を計画的に集積していくための立地適正化計画を令和2年度から令和4年度までの3年間で策定しています。令和4年度は関連事業等の検討、事業方策の検討事業効果の評価方法の検討、計画の作成、パブリックコメントの実施、計画の公表を行います。

### 大竹駅周辺整備事業 (大竹駅自由通路壁面装飾タイル作成事業)

2,400 千円 予算書 152 ページ 《 担当 総務課 》

令和3年度末まで受け付けていた大竹駅再生プロジェクトクラウドファンディングに寄附をいただいた方々へ感謝を表すため、寄附者の名前が入ったおおたけ和紙を使ったタイルを、大竹駅自由通路の壁面に装飾します。

### 大竹駅周辺整備事業

737,811 千円 予算書 152 ページ 《 担当 都市計画課 》

自由通路や駅舎等の建設、関連する支障物件の移設などの鉄道施設に関する工事について、平成30年12月に鉄道事業者と工事の施行に関する協定を締結しました。

令和4年度は引き続き自由通路や橋上駅の本体工事を行い、橋上駅の開業と自由通路の供用を開始します。

また、東口交通広場整備工事及び西口駅前広場に隣接する市道の道路拡幅・無電柱化工事に着手します。

※ 32 ページの「令和4年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

### 新規 駅前油見線改築事業

4,200 千円 予算書 152 ページ 《 担当 都市計画課 》

大竹駅西側地区において、駅周辺へのアクセスなど住みやすさや利便性の高い生活道路網の形成や、災害時の避難路や延焼防止などの防災機能を強化するため、都市計画道路駅前油見線(W=16m L=約150m)を整備します。令和4年度は、地形測量を行います。

※ 32 ページの「令和4年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

**拡充** 橋りょう長寿命化事業

128,000 千円 予算書 142 ページ 《 担当 土木課 》

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い道路橋りょうの予防保全のため、計画的な補修を行います。また、健全性の診断のため、5年に1回定期点検を実施しています。		
定期点検	14,000 千円	恵川橋、黒川橋、宮久保橋など40橋の定期点検を行います。
調査設計	9,000 千円	橋りょうの補修箇所や工法を検討するための調査設計を行います。 ・小方橋、加計橋、向田橋（歩道）
橋りょう補修	105,000 千円	橋りょうの塗装の塗り替えや、断面のひび割れ等の修復を行います。 ・小島橋 L=95.0m ・玖波30号線2号橋 L=12.5m ・二井橋 L=4.5m

道路・橋りょう維持事業

23,000 千円 予算書 143 ページ 《 担当 土木課 》

道路利用者の安全を確保するため、日常的な点検や定期点検で道路や橋りょうの損傷・劣化を発見し必要な対策を行います。		
新町1号線舗装補修	9,000 千円	老朽化した路面の補修を行います。 路面補修 切削オーバーレイ3cm L=190m、A=1,050㎡
玖波9号線舗装補修	14,000 千円	老朽化した路面の補修を行います。 路面補修 オーバーレイ3cm L=620m、A=2,650㎡

※ 32 ページの「令和4年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

**拡充** 道路・橋りょう新設、改良事業

40,036 千円 予算書 144~145 ページ 《 担当 土木課 》

交通の円滑化と安全性の向上のため、市道の改良などを行います。		
北栄南栄1号線道路設計業務	4,000 千円	大竹駅周辺整備事業に伴い、交通量の増加が見込まれる大竹駅東口に隣接する市道の歩道空間の確保のため予備設計を行います。
小方4号線道路改良	26,816 千円	令和3年度に引き続き、小方ポンプ場付近の道路改良工事を行います。
岩国大竹道路建設に伴う市道改良	3,000 千円	国土交通省が実施している岩国大竹道路建設事業に伴い、安全対策等に必要な改良を行います。
南栄下白石線歩道改良	4,920 千円	通学路緊急合同点検で、対策必要箇所として抽出された、歩道の整備を行い、通学児童及び歩行者の安全性の向上を図ります。
廿日市市・大竹市間道路整備	1,300 千円	廿日市市で実施される鳴川3号線整備に伴い、大竹市域に係る事業費について負担します。 この道路整備により、大竹市から鳴川地区までの間の日常生活の安全性や利便性の向上、また、国道2号が通行止めとなったときの代替路の役割を担い、道路ネットワークが強化されることが期待されます。

※ 32 ページの「令和4年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

## 県道等整備事業

5,520 千円 予算書 145 ページ 《 担当 監理課 》

県が実施する大竹湯来線、栗谷河津原線及び国道186号の道路改良事業の費用の一部を負担します。

## 岩国大竹道路建設事業

- 千円 担当 監理課

引き続き、岩国大竹道路建設に国と協力して取り組みます。  
(※国の事業のため、事業費は計上していません)

### 3 生活を支える公共交通の充実

## 地域公共交通整備事業

89,584 千円 予算書 56~57 ページ 《 担当 自治振興課 》

市民の移動環境を確保・維持するため、こいこいバス、大竹・栗谷線バス、坂上線バス、乗合タクシーの運行経費を負担し、谷和・広原地区タクシーや離島航路の補助を行います。

### 4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備

## 漁港施設維持管理事業

23,000 千円 予算書 132 ページ 《 担当 土木課 》

漁港施設の長寿命化のため、機能保全計画に基づき、計画的に各施設を補修します。

阿多田猪子西浮棧橋補修工事	23,000 千円	猪子西浮棧橋のチェーン等補修工事を行います。
---------------	-----------	------------------------

※ 32 ページの「令和4年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

## 港湾施設の修築・改良事業

142,167 千円 予算書 149 ページ 《 担当 監理課 》

県が実施する大竹港における御幸地区の護岸工事のほか、小方港の橋梁架替に伴う工事などの費用の一部を負担します。

### 5 住みよさと安心を生む住宅政策

## 拡充 空家対策事業

7,232 千円 予算書 156 ページ 《 担当 都市計画課 》

「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、空き家の削減や適正管理、さらに空き家の活用について、総合的な対策を推進します。

令和4年度には、大竹市全域に分布する空家等を把握するため、空家等実態調査を実施します。



## 住宅改修等補助事業

9,984 千円 予算書 156 ページ 《 担当 都市計画課 》

住宅・空き家等の改修・除却等に要する費用の一部を補助します。

- 木造住宅耐震診断補助事業  
補助率：耐震診断費用の2/3（上限3万円）  
要件：市に登録された診断資格者による耐震診断
- 木造住宅耐震改修等補助事業  
補助率：補助対象費用の1/2  
・段階的耐震改修（上限30万円）  
・耐震改修（上限40万円）  
・耐震シェルター等設置（上限12万5千円）  
要件：市に登録された診断資格者による耐震診断、設計した工事に限る
- 建築物土砂災害対策改修補助事業  
補助率：対策改修費用の23%（上限75万9千円）  
要件：土砂災害特別警戒区域内（レッドゾーン）の建築物の改修
- ブロック塀等除却事業  
補助率：除却に係る補助対象費用の2/3（上限15万円）  
要件：大竹市ブロック塀等除却補助事業実施要綱に定める補助対象ブロックの除去
- 住宅リフォーム事業  
補助率：補助対象費用の1/10  
・住宅リフォーム（上限20万円）  
・耐震リフォーム（上限30万円）  
・空き家リフォーム（上限30万円）  
要件：耐震リフォームは木造住宅耐震改修補助事業の活用  
空き家リフォームは市空き家バンク登録物件
- 特定空家等除却補助事業  
補助率：除却費用の4/5（上限30万円）  
要件：特定空家等に認定された建築物に限る

## 6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備

### 新規 穂仁原地区水辺の広場整備事業

25,000 千円 予算書 147 ページ 《 担当 土木課 》

旧穂仁原小学校跡地に、水辺の広場を整備します。市民活動の広がり場として利用するとともに、伝統文化の保存・継承の場としても活用します。

※ 32 ページの「令和4年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

### 拡充 晴海臨海公園整備事業

113,000 千円 予算書 154~155 ページ 《 担当 都市計画課 》

令和元年度まで、第2期工事として、子どもから大人まで幅広い世代が集える憩いの場所として大型遊具「ロボボファクトリー」や遊具広場の整備、シーサイドゾーンの南北を結ぶ幹線園路や展望施設、デイキャンプが楽しめる海辺の広場を整備しました。

令和4年度は令和3年度に引き続き第3期工事として、多目的グラウンド（西側ゾーン）の雨水処理をするための雨水排水管整備や園路を整備します。

また、現在建設中の民間美術館や県港湾緑地に接続する園路も整備します。

※ 32 ページの「令和4年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

## 7 暮らしを支える上下水道の整備

【公共下水道事業会計】

### 大竹下水処理場共同処理整備事業 (し尿等受入施設整備)

73,000 千円 公共下水道事業会計予算書 141 ページ 《 担当 上下水道局 》

し尿・浄化槽汚泥を下水道施設に接続するための受入・前処理施設を整備し、隣接する下水処理場に投入・処理するもので、この受入・前処理施設を下水道施設として令和7年度末までに整備するものです。

令和4年度は、し尿・浄化槽汚泥受入れ施設の建設工事に着手します。

(令和4・5年度2ヶ年工事 事業費計：318,000千円)

※ 32 ページの「令和4年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

【公共下水道事業会計】

### 大竹下水処理場改築更新事業



198,000 千円 公共下水道事業会計予算書 139 ページ 《 担当 上下水道局 》

下水処理場の老朽化に伴い、機械・電気設備の改築更新を行います。

令和4年度は、令和3年度に引き続き、下水処理場1・2系の散気装置(下水に空気を供給し、水の浄化を促進する設備)等改築更新工事を行います。

(1系：令和3・4年度2ヶ年工事 事業費計：300,000千円)

(2系：令和4・5年度2ヶ年工事 事業費計：240,000千円)

## 8 環境にやさしい持続可能なまちづくり

### 地域不法投棄対策事業



8,774 千円 予算書 105 ページ 《 担当 環境整備課 》

地域の快適な生活環境を守るため、自治会連合会、公衆衛生推進協議会、警察署及び庁内関係部署と緊密に連携し、地域住民の協力を得ながら、不法投棄防止の諸施策を積極的に推進します。

不法投棄の防止に向けた広報・啓発活動や監視パトロールの強化、既設監視カメラの効果的な活用に取り組みます。

公衆衛生推進協議会の不法投棄防止に向けた活動を引き続き支援します。

### 環境衛生推進事業



5,564 千円 予算書 106 ページ 《 担当 環境整備課 》

公衆衛生推進協議会が取り組んでいるごみステーションの維持・管理や環境美化啓発看板の配布、花いっぱい運動などの地域に密着した環境美化活動を支援することで、きれいで快適なまちづくりを推進します。

### ごみ減量化・資源化促進事業

6,955 千円 予算書 117 ページ 《 担当 環境整備課 》

不要なものを買わない(リフューズ)、ごみを出さない(リデュース)、ごみを再使用する(リユース)、ごみを資源として再生利用する(リサイクル)の4Rを実践する取組を積極的に推進します。

ごみの減量化に取り組む資源回収団体に対する回収量に応じた報奨金の交付や、生ごみ処理容器購入費の助成により、家庭ごみの減量化に取り組めます。

## 環境学習事業



5,630 千円 予算書 120 ページ 《 担当 環境整備課 》

市の環境の現状を、多くの市民に理解してもらうため、効果的な環境啓発活動に取り組みます。体験型の環境体験学習や集客効果の高いイベント会場で環境に関する行事等を開催します。また、二酸化炭素の排出量削減に資する行動等地球環境にやさしい行動を促す取組も充実します。

## ひろしまの森づくり事業



7,369 千円 予算書 129 ページ 《 担当 産業振興課 》

県土の保全や水源のかん養等、森林の有する公益的な機能を持続的に発揮させるため、平成19年4月から県が導入した「ひろしまの森づくり県民税」を活用して、人工林や里山林の整備、森林の間伐、鳥獣被害を削減・防止するための緩衝地帯整備などのほか、森林機能や木材利用に対する市民の意識の醸成を図ります。

# 4 安全・安心

## 1 自然災害やさまざまな危機に強いまちづくり

### 一般河川(水路)浚渫事業



65,000 千円 予算書 147 ページ 《 担当 土木課 》

令和3年度に引き続き河川氾濫等による浸水被害を防ぐため、市内の河川(水路)内に堆積している土砂を撤去します。令和4年度は、入川排水路、中浜1号水路の浚渫工事を行います。

### 急傾斜地崩壊対策事業(市)



29,959 千円 予算書 147~148 ページ 《 担当 土木課 》

急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を保護するため、対策工事を行います。令和4年度は、立戸(鞍掛)地区の崩壊対策工事を行います。

※ 32 ページの「令和4年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

### 急傾斜地崩壊対策事業(県)

10,250 千円 予算書 148 ページ 《 担当 監理課 》

県が実施する栗谷地区などの急傾斜地崩壊対策事業の費用の一部を負担します。

## 自主防災組織育成指導事業



1,328 千円 予算書 166 ページ 《 担当 危機管理課 》

地域防災力の向上のため、県の助成金を活用し「避難の呼びかけ体制づくり」を更に推進し、参加組織の能力向上を目指します。

また、自主防災組織への助成金交付や講師派遣等により、組織の立ち上げや防災訓練等の支援を行うとともに、地域防災リーダー養成研修及びスキルアップ研修による防災知識の習得や技能向上を通じて、地域防災活動の担い手を育成します。

【公共下水道事業会計】

拡充



## 小島雨水排水ポンプ場等改築更新事業

474,730 千円 公共下水道事業会計予算書 139 ページ 《 担当 上下水道局 》

小島雨水排水ポンプ場・小方ポンプ場（雨水）の老朽化に伴い、機械・電気設備の改築更新を行います。

令和4年度は、令和3年度に引き続き、小島雨水排水ポンプ場の機械・電気設備の改築更新工事を行います。

（令和3・4年度2ヶ年工事 事業費計：586,016千円）

また、小方ポンプ場の機械・電気設備の改築更新工事を行います。

（令和4・5年度2ヶ年工事 事業費計：350,000千円）

## 2 市民の命を守る消防体制の充実

### 新規 消防団活動推進事業・消防団資機材整備事業 （消防団活動服・搬送車（人員・資機材）整備事業）

8,434 千円 予算書 163~164 ページ 《 担当 消防本部 》

老朽化した第4分団第1部（栄町地区）の団員輸送車を搬送車（人員及び資機材）に更新します。また、消防団活動服を新たに整備します。

# 5 健康・福祉

## 1 生きがいに満ちた高齢者の暮らしの支援

### 高齢者離島対策事業（介護サービス利用支援事業）

599 千円 予算書 80 ページ 《 担当 地域介護課 》

阿多田地区に居住する高齢者が介護保険サービスを利用しやすくなるよう、サービス利用時のフェリー代を助成します。利用者に付添う付添人も助成の対象としています。

新規



### 介護施設整備等補助事業

41,151 千円 予算書 80~81 ページ 《 担当 地域介護課 》

大竹市第8期介護保険事業計画に基づき、新たに施設を整備する地域密着型サービス事業者に対して、施設整備等開設準備費用の一部を補助します。

## 2 子どもと子育てを支える体制の充実



### 子育て短期支援事業

189 千円 予算書 86 ページ 《 担当 福祉課 》

保護者が病気などで一時的に家庭において児童の養育が困難になった場合や、経済的理由などで緊急的に保護を必要とする母子を、施設で預かる「ショートステイ」、保護者が仕事などのため夜間や休日に家庭において児童の養育が困難な場合に施設で児童を預かる「トワイライトステイ」を実施します。

## 未就学児等離島対策事業

176 千円 予算書 86~87 ページ 《 担当 福祉課 》

阿多田地区に居住する未就学児（未就学児が2人以上いる場合）及び未就学児のいる世帯の保護者を対象としたフェリー代の助成を行います。

## こども医療費助成事業



127,621 千円 予算書 87 ページ 《 担当 保健医療課 》

満15歳に達する日以後最初の3月31日まで（中学卒業まで）のすべてのこどもを対象に、医療費の自己負担額を一部助成します。  
このことで、こどもの疾病の早期発見と治療を促進し、健全な成長を促すとともに、子育て世帯の医療費の負担を軽減します。  
県の制度である未就学児に対する助成に加え、市の独自事業として小中学生を助成対象としています。

## 新規 市立保育所等整備事業（大竹・本町統合）

23,210 千円 予算書 90 ページ 《 担当 福祉課 》

「大竹市公立保育所等の再編における大竹地区施設整備計画」により、本町保育所を大竹保育所に統合して令和6年度からの開所を目指すため、大竹保育所の改修設計業務を行います。

## 病児保育運営委託事業



12,124 千円 予算書 91 ページ 《 担当 福祉課 》

保護者の勤務の都合等により、家庭で保育できない生後6ヶ月から小学6年生までの児童で、保育所（園）、認定こども園、小規模保育園、幼稚園、小学校等に通えない病児や病後児を保育します。

※ 34 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

## 児童福祉相談事業

8,187 千円 予算書 92~93 ページ 《 担当 福祉課 》

専門知識を持つ相談員が0歳から18歳未満までの児童の養護、障害、非行、育成などについて、相談・助言を行います。また、児童虐待の防止や再発防止を図るため、相談体制を強化し、よりきめ細かな相談や支援を行います。

※ 33 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

## 子育て支援センター等運営管理事業



25,613 千円 予算書 93~95 ページ 《 担当 福祉課 》

乳幼児や保護者が相互に交流する場所を市内3箇所（子育て支援センター「どんぐりHOUSE」、さかえ子育て支援センター、松ヶ原こども館）に開設し、子育てに関する講座の開催や子育て相談、情報の提供、子育てサークルの育成・支援などを行います。  
令和4年度からは、「どんぐりHOUSE」を市役所本庁舎敷地内に整備した「にじいろこども園」内に移転し、子育て支援事業の充実やネウボラとの連携強化など、子育て支援の拡充を図ります。

※ 33.34 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

## 利用者支援事業 (ネウボラ)



8,885 千円 予算書 95 ページ 《 担当 福祉課 保健医療課 》

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う仕組み(=ネウボラ)を構築し、令和2年度から実施しています。大竹市のネウボラは、市役所保健医療課に母子保健コーディネーター(保健師など)、子育て支援センター「どんぐりHOUSE」に子育て支援コーディネーター(利用者支援員=専門研修を受けた保育士)を配置し、相互に連携しながら相談・支援・関係機関との連絡調整などを行います。

令和4年度からは、市役所本庁舎敷地内に整備した「にじいろこども園」内にどんぐりHOUSEが移転するのを機に、さらなる連携強化を図ります。

新規



## 母子保健指導事業 (視覚検査機器購入事業)

1,375 千円 予算書 108 ページ 《 担当 保健医療課 》

日常生活では気づかれない弱視や目の異常を早期発見・早期治療につなげることを目的に、視覚検査機器を購入します。

### 3 障害のある人が自分らしく生きるための支援

## 障害者等自立支援給付事業



586,064 千円 予算書 77 ページ 《 担当 福祉課 》

すべての障害者や障害児が、できるだけ身近な場所で必要な日常生活や社会生活を営むためのサービス事業(生活介護、就労継続支援B型、施設入所、グループホーム、補装具、自立支援医療等)の利用を支援します。

### 4 見守り支え合う地域福祉の推進

## 生活困窮者自立支援事業

19,834 千円 予算書 73 ページ 《 担当 福祉課 》

生活困窮者の自立支援策の強化のため、自立相談支援等の事業を実施します。

## 地域見守り活動事業



502 千円 予算書 73 ページ 《 担当 地域介護課 》

株式会社ちゅピCOMが大竹市民向けに提供している「見守りサービス」の安否確認メールシステムの初期導入費用及び月額利用料を公費負担し、見守りが必要な65歳以上の独居高齢者等の日常的な安否確認を行っています。

## 地域福祉担い手育成事業



17,602 千円 予算書 74 ページ 《 担当 地域介護課 》

地域住民の複雑化・複合化したニーズに対応する包括的な支援体制を整備し、対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う重層的支援体制整備を行います。誰もが、どのような状況にあっても利用できる相談支援体制を構築し、この体制を軸に地域住民が互いを認め合い、助け合う地域社会(地域共生社会)が創出されることを目指します。



## 地域支援事業

183,418 千円

332~335 ページ 《 担当 地域介護課 》

被保険者が要介護・要支援状態となることを予防し、社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的としています。地域における包括的な相談及び支援体制、多様な主体の参画による日常生活の支援体制、在宅医療と介護の連携体制及び認知症高齢者への支援体制の構築等を一体的に進めます。

介護予防・生活支援サービス事業 【予算書332】	89,600 千円	要介護・要支援の状態になることを予防するとともに、要介護の状態になっても、できるだけ住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援するためのサービスを提供します。
一般介護予防事業 【予算書333】	14,742 千円	いきいき百歳体操を軸に、介護予防を実践する人を増やしていきます。また、地域での活動や自宅での介護予防の実践は、元気で自立した生活につながり、教室に参加することが、閉じこもり防止や友人とのふれあいなど、普段の生活に生きがいを持てるような支援となり、介護給付費の削減にもつながります。
包括的支援事業 【予算書333~334】	69,244 千円	平成18年4月からサントピア大竹内に大竹市地域包括支援センターを、平成27年7月からメーブルヒル病院内に大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援センターを設置しました。それぞれ主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師などが連携し、総合的に高齢者を支えています。
任意事業 【予算書334~335】	9,832 千円	介護給付費などの適正化に向けた取組を行うほか、認知症について理解を深めるための認知症サポーター養成講座や認知症カフェなどを開催します。 在宅の高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括支援センターが主体となり高齢者の見守りのためのネットワークづくりを進めます。

※ 35 ページの「各施設のご案内」をご覧ください



## 医療体制支援事業（救急相談センター運営事業）

798 千円 予算書 100 ページ 《 担当 保健医療課 》

連携中枢都市圏制度を活用し、広島市が主体となって広島市に設置する「救急相談センター」の事業費の一部を負担します。

市民が急な病気やけがをしたときに、#7119番に電話すると、対応についてのアドバイスを受けることができます。また、緊急度が高いと判断した場合には、119番へ転送し、救急搬送につながります。



## 産科医療施設人材確保支援事業

98 千円 予算書 100 ページ 《 担当 保健医療課 》

広島西二次保健医療圏（大竹市・廿日市市）の拠点病院であるJA広島総合病院の分娩を取り扱う医師の確保のため、廿日市市と共同で分娩手当を補助します。

## 予防接種推進事業

95,608 千円 予算書 100~101 ページ 《 担当 保健医療課 》  
103~104

麻疹、風しんやポリオなどの人から人へ感染する恐れのある感染症の発生やまん延を防ぐため、予防接種を実施します。個人の感染防御・重症化予防のため、インフルエンザ、高齢者肺炎球菌ワクチンの接種を実施します。

令和元年度から開始した成人の風しん抗体検査・予防接種事業、令和3年度から開始した市民に対する新型コロナウイルスワクチン接種事業を継続します。

また、平成26年6月から国の通知により控えていた小6～高1の女子を対象とした子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨を再開します。加えて、これまでに接種機会を逃した方に対するキャッチアップ接種を実施します。



## 妊産婦歯科健康診査事業

948 千円 予算書 109 ページ 《 担当 保健医療課 》

妊産婦自身の口腔内の衛生状況を健康に保つとともに、生まれてきた子どものむし歯のリスクを下げるため、妊娠中、産後の妊産婦の歯科健康診査の受診券を交付します。

口腔衛生の関心を高めて、生涯健康な歯をつくる契機とします。

## 妊婦乳幼児健康診査事業



18,932 千円 予算書 109 ページ 《 担当 保健医療課 》

妊婦・乳幼児の健康の保持・増進のため、妊婦健康診査及び乳幼児健康診査の受診券を交付します。

定期的に健康診査を受けることで、異常の早期発見・早期治療につなげるとともに、経過観察や支援が必要な妊産婦や乳幼児への対応を行います。



## 拡充 不妊治療費助成事業

2,123 千円 予算書 110 ページ 《 担当 保健医療課 》

令和4年4月から、特定不妊治療は保険適用となりますが、特定不妊治療に併せて行われる先進医療等の治療費（保険適用外）に対して、県が行う助成制度に上乘せして独自に助成します。

妊娠・出産を望む夫婦の希望を叶えるため、経済的・精神的な負担を軽減することで、妊娠・出産しやすい環境づくりに取り組めます。



## 健康づくり推進事業

121,832 千円

101～102  
244～245  
248

ページ 《 担当 保健医療課 》

生活習慣病やその他の心身の健康に関する事項について、正しい知識の普及啓発により市民の健康意識を高めるとともに、医療機関などと連携して市民の健康の保持・増進を図ります。

<p>【一般会計】 健康増進事業 【予算書101号】</p>	<p>4,968 千円</p>	<p>市民が健康で自立した生活を維持するため、健康UPファイルの配布、健康教育、健康相談、訪問指導を実施します。</p>
		<p>健康UPファイルの配布 「自分の健康は、自分で守る」意識を醸成するため、健康診査の受診記録などをまとめておけるファイルを配布します。</p>
		<p>健康教育 生活習慣病などの予防のため、健康教室やパンフレット配布などによる啓発を通じて、健康に関する正しい知識を普及します。</p>
		<p>健康相談 病気の発生や重症化の予防のため、健康診査の事後措置として、保健師や栄養士による個別相談を行います。</p>
		<p>訪問指導 健康に関する問題を総合的に把握し、生活改善などの必要な指導を行います。疾病を予防できるよう保健師などが家庭へ訪問し指導します。</p>
<p>【一般会計】 歯科保健事業 (節目歯科健診) 【予算書101～102号】</p>	<p>6,300 千円</p>	<p>在宅寝たきり高齢者等訪問歯科診療促進事業 訪問歯科健康診査、口腔ケアを行うことで口腔の健康回復を図り、健康な状態を保持します。</p>
		<p>節目歯科健診 歯周病の予防及び早期発見により、高齢期における歯の喪失予防を図り、市民の健康維持及び向上のため、節目年齢（40歳・50歳・60歳・70歳）の方を対象に、500円で受けられる歯科健診を実施します。 国民健康保険被保険者は、自己負担額を無料にします。</p>

<p>【一般会計】 がん検診及び健康診査等事業 【予算書102号】</p>	<p>48,976 千円</p>	<p>がん検診 がんの早期発見・早期治療を促進するため、満40歳以上の方（子宮頸がんは満20歳以上の女性）を対象にがん検診を実施します。 大腸がん検診は、対象のすべての方の自己負担額を無料にします。 国民健康保険被保険者や後期高齢者医療保険被保険者には、すべてのがん検診の自己負担額を無料にします。</p>
		<p>一般健康診査 生活習慣病の予防や疾病などの早期治療を促進するため、後期高齢者医療保険被保険者などを対象として一般健康診査を実施します。</p>
		<p>肝炎ウイルス検診 ウイルス性肝炎の早期治療を促進するため、満40歳以上の方を対象として肝炎ウイルス検診を実施します。（過去の受診者を除く）</p>
<p>【国民健康保険特別会計】 特定健康診査等勸奨事業 【予算書244～245号】</p>	<p>17,274 千円</p>	<p>特定健康診査の受診勧奨を強化し、特定保健指導の利用勧奨を実施します。</p>
<p>【国民健康保険特別会計】 糖尿病対策推進事業 【予算書245号】</p>	<p>15,187 千円</p>	<p>糖尿病は脳卒中や心臓病など命に関わる病気のほか、失明や人工透析など日常生活に重大な支障をもたらす病気を発症させる原因となります。その予防、重症化を防止する施策を大竹市医師会と協議・検討しながら事業を展開することにより、市民の健康を保持し、医療費の増大を抑制します。</p>
<p>【国民健康保険特別会計】 特定健康診査等事業 【予算書248号】</p>	<p>29,127 千円</p>	<p>40歳～74歳の国民健康保険被保険者に対して、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健康診査、保健指導を実施し、生活習慣病の予防、改善を図ります。 特定健康診査・保健指導をより受けやすくするため、自己負担額を無料としています。</p>

# 6 自治・行政運営

## 1 市民と行政の協働による地域づくり

### 協働のまちづくり推進事業



1,000 千円 予算書 55 ページ 《 担当 自治振興課 》

市民活動団体が地域の課題解決のため自ら提案・実施する事業に助成し、市民活動の自主性の向上を図ります。また、市民活動団体の活動中の事故を市民活動保険制度で補償します。

### 地域活動促進事業



23,125 千円 予算書 55~56 ページ 《 担当 自治振興課 》

住みよい地域づくりに向けて取り組む自治会や、地域の連帯を深めて住みよい地域社会の形成に向けて取り組むコミュニティづくり推進協議会等の活動を支援することで地域活動を促進します。

## 2 将来を見据えた計画的で効率的な行財政運営

### 新規 議事録作成事業(DX)

660 千円 予算書 53 ページ 《 担当 企画財政課 》

AI（※1）・RPA（※2）等を活用した事務の能率化を推進するため、音声記録から自動的に議事録等の文字起こしをするAI機器等の導入に向け、試行・検証を行います。

※1：「Artificial Intelligence」の略で、人工知能とも呼ばれる。データを参照しながら主体的に判断を行う仕組み。

※2：「Robotic Process Automation」の略。プログラム（ロボット）を用いて、データ入力等の業務を自動化するシステム。

### 拡充 市税賦課徴収事業 (基幹業務システム改修事業)

2,280 千円 予算書 61 ページ 《 担当 市民税務課 》

納税者の利便性向上のため、令和5年度から地方税共通納税システム（エルタックス）で納付できる税目が増えます。

これまで法人を対象とした個人市県民税（特別徴収）と法人市民税がパソコンを利用して納付可能でした。

令和5年度からは固定資産税、都市計画税、軽自動車税（種別割）が追加され、個人も利用できることとなります。

令和4年度は、エルタックスの拡充に対応するため、基幹業務システムを改修します。

## 戸籍住民基本台帳事務(証明書コンビニ交付事業)

7,368 千円 予算書 62~63 ページ 《 担当 市民税務課 》

市民サービスの向上のため、令和4年3月からマイナンバーカードをお持ちの方がコンビニエンスストア等で住民票の写し等の証明書を取得できる「証明書コンビニ交付サービス」を開始しました。

(交付証明書の種類)

- ・住民票の写し、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書
- ・戸籍謄本、戸籍の附票の写し(大竹市に本籍がある人)
- ・所得課税証明書

【水道・公共下水道事業会計】

## 料金・使用料改定事業

6,291 千円 水道・公共下水道 43  
事業会計予算書 45 ページ 《 担当 上下水道局 》  
133

令和3年度に設置した大竹市上下水道料金審議会で、適正な水道料金及び下水道使用料について審議を行います。令和4年夏頃までに答申を受け、議会の議決を得た上で、令和5年4月検針分(2月・3月使用分)からの料金改定を予定しています。

- ・大竹市上下水道料金審議会委員報酬 231千円
- ・大竹市上下水道料金審議会委員費用弁償 130千円
- ・大竹市水道料金等改定支援業務 5,930千円(水道事業会計:2,965千円、公共下水道事業会計:2,965千円) 審議会運営支援、資料・議事録作成支援等

### 3 公営企業などの健全な経営

## 拡充 地域公共交通整備事業 (阿多田フェリー新船建造事業)

362,030 千円 予算書 56~57 ページ 《 担当 自治振興課 》

市が運航事業者に代わって新船を代替建造します。令和4年度は本格的に建造が始まります。令和5年度から就航する予定です。

## 土地開発公社経営健全化対策事業

10,565 千円 予算書 139 ページ 《 担当 監理課 》

土地開発公社の財務状況改善のため、利子補給や土地売却に伴う損失補填等のための補助を行います。

## 令和4年度当初予算における(仮称)基地関連特別交付金充当事業

大竹市がこれまで交付を受けていた再編交付金は、「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」(再編特措法)に基づき交付されていました。この法律は、平成18年5月の日米安全保障協議委員会で承認された駐留軍等の再編を円滑に実施することを目的としたもので、再編対象となる防衛施設周辺地域の住民生活への影響の増加に配慮した特別措置として、再編交付金は交付されていました。

平成19年10月31日に、岩国飛行場が「再編関連特定防衛施設」に、大竹市が「再編関連特定周辺市町村」に指定され、平成19年度から令和3年度までの15年間、再編交付金が交付されていました。

今回、国において令和4年度予算に再編交付金に代わる新たな交付金制度が創設されることになりました。大竹市には、令和4年度から令和18年度までの15年間(予定)、新たな交付金〔(仮称)基地関連特別交付金〕が交付される予定です。

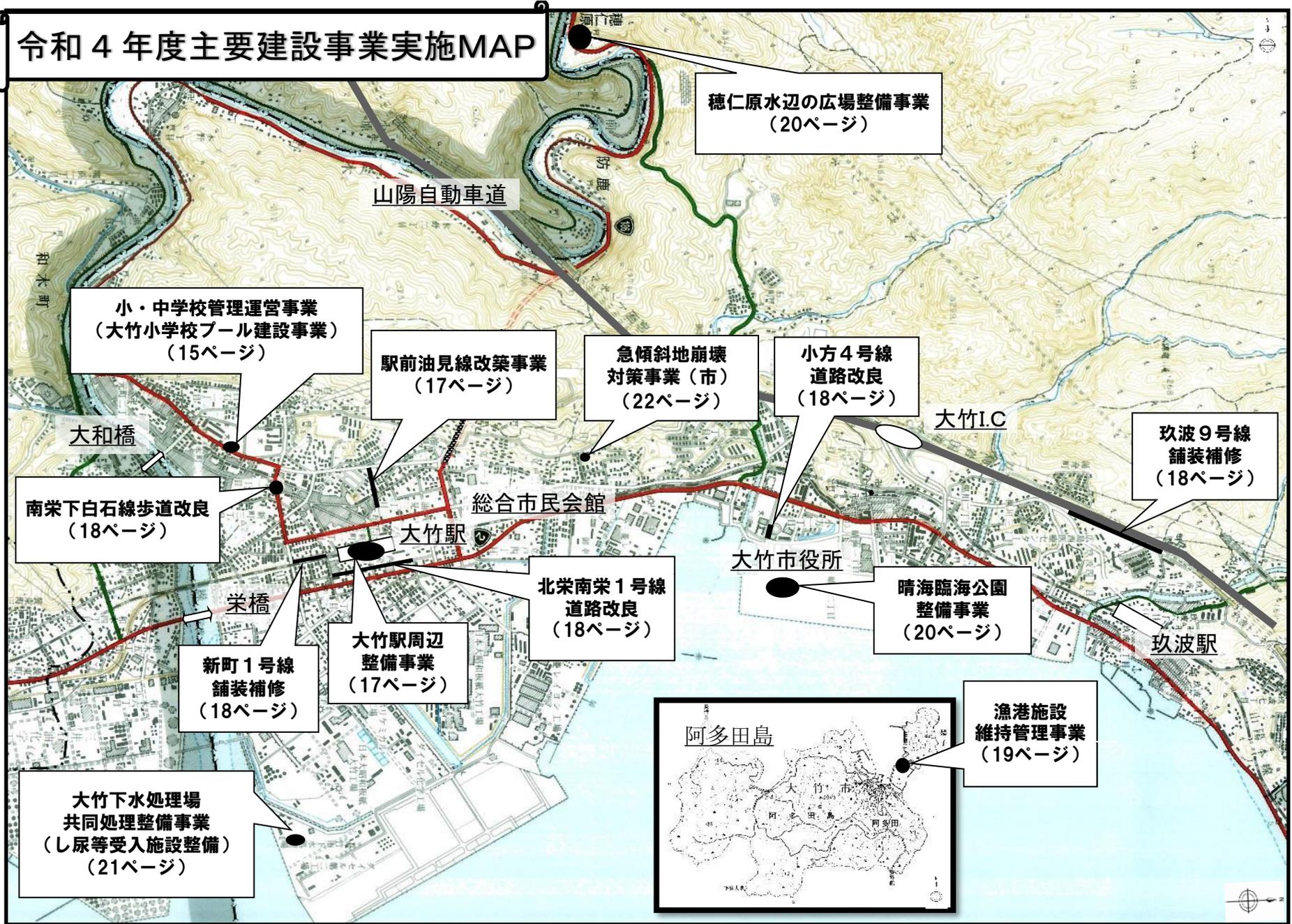
((仮称)基地関連特別交付金予算額) 397,000千円

令和4年度は、(仮称)基地関連特別交付金を充当して次の事業を実施します。

(単位:千円)

事業		交付金充当額	主 な 内 容
基金積立	にこにここども基金事業	69,000	平成21年度に再編交付金を活用して、「にこにここども基金」を造成し、平成22年度からこども医療費助成事業を実施しています。今後も引き続き、こども医療費助成制度の市独自事業分へ充当するため、基金に積み立てます。
	健やか安心基金事業	54,000	平成22年度に再編交付金を活用して、「健やか安心基金」を造成し、平成23年度から妊婦乳幼児健康診査等の実施しています。今後も引き続き事業を継続していくため、基金に積み立てます。
	教育環境充実基金事業	167,300	老朽化している大竹小学校と大竹中学校のプール施設を解体し、大竹小学校に児童と生徒が共同で使用できる新たなプール施設を整備します。今後のプール施設整備の事業費に充当するため、基金に積み立てます。
小方4号線道路改良事業		13,100	令和3年度に引き続き、小方ポンプ場付近の道路改良工事を行います。
晴海臨海公園整備事業		93,600	晴海臨海公園では、これまでに球技場やテニスコート、管理棟等のスポーツゾーンの整備、大型遊具「ロボボファクトリー」等のファミリーゾーンの整備、展望施設やデイキャンプ施設等のシーサイドゾーンの整備を行ってきました。令和4年度は、令和3年度に引き続き、多目的グラウンド(西側ゾーン)の雨水処理をするための雨水排水管や園路を整備します。 また、現在建設中の民間美術館や県港湾緑地に接続する園路も整備します。
合 計		397,000	

# 令和4年度主要建設事業実施MAP



## 各施設のご案内

### 放課後児童クラブ

15ページ

- ・あすなる児童クラブ（玖波七丁目1-1（玖波小学校内））
- ・みどり児童クラブ（小方ヶ丘1-2（小方学園内））
- ・ひかり児童クラブ（白石二丁目1-2（大竹小学校内））

【対象】 市内の小学生であって、保護者が仕事等の理由により昼間家庭にいない児童、及びこれに準ずる児童

【利用時間】 ≪平日≫ 下校時～18時 ≪土曜日≫ 8時～18時  
≪土曜日を除く長期休暇（春・夏・冬休み）・学校行事等の代休日≫ 8時～18時30分

【電話】 28-5680（生涯学習課社会教育係）

### 大竹市こども相談室

14ページ

≪相談業務≫ いじめ、不登校などの教育に関する相談、子どもの性格上の問題、非行、児童への虐待などの子どもについての様々な相談に応じます。

≪適応指導≫ 学校と家庭の中間的な役割を担い、児童・生徒の学習する場の提供や、社会的自立に向けたきめ細やかな支援を行います。

【場所】 大竹市立戸一丁目8-5（総合市民会館の山側）

【利用時間】 月～金曜日の8時30分～16時

【電話】 54-0021（こども相談室）

### 大竹市家庭児童相談室

24ページ

≪相談業務≫ 家庭で養育困難な児童の養護、障害、非行、育成に関する、0歳から18歳未満までの子どもについての様々な相談に応じます。

【場所】 大竹市小方一丁目11-1（大竹市役所内）

【利用時間】 月～金曜日の9時～16時

【電話】 59-2151（家庭児童相談室）  
59-2148（福祉課児童係）

### 子育て支援センター「どんぐりHOUSE」

24ページ

【対象】 市内在住の小学校就学前の子どもと保護者、子育てボランティアの方

【場所】 大竹市小方一丁目11-1

【利用時間】 月～金曜日 9時30分～12時／13時30分～16時30分

【電話】 59-3500（子育て支援センター）  
59-2148（福祉課児童係）

## 各施設のご案内

### さかえ子育て支援センター

24ページ

- 【対象】 市内在住の小学校就学前の子どもと保護者、子育てボランティアの方
- 【場所】 大竹市西栄三丁目12-25(さかえ保育所敷地内)
- 【利用時間】 月～金曜日 9時30分～12時／13時30分～16時30分
- 【電話】 53-9766(さかえ子育て支援センター) 59-2148(福祉課児童係)

### 松ヶ原こども館

24ページ

- 【対象】 乳幼児・小中学生と保護者、子育てボランティアの方
- 【場所】 大竹市松ヶ原町445-2
- 【利用時間】 月・火・水・金・土曜日 10時～16時(※臨時休館日有り(月1～2日程度))
- 【電話】 57-8333(松ヶ原こども館) 59-2148(福祉課児童係)
- 【ホームページアドレス】 <http://honobonon.client.jp/>(NPO法人子育てハッピーネットほのぼのん)

### 病児・病後児保育室「にっしーくんハウス」

24ページ

- 【対象】 生後6ヶ月から小学6年生までの保育所、幼稚園及び小学校に在籍している病気または病気の回復期にある児童  
※ 事前登録が必要です。
- 【場所】 大竹市玖波四丁目1番1号(独立行政法人国立病院機構広島西医療センター内)
- 【利用料金】 ○市内在住の方 1,000円 ○市外在住の方 2,000円  
(大竹市民のみ生活保護世帯、市民税非課税世帯には利用料免除の制度があります。)
- 【利用時間】 月～金曜日(祝日、年末年始(12/29～1/3)を除く) 8時15分～18時00分
- 【電話】 57-7183(にっしーくんハウス) 59-2148(福祉課児童係)

### 大竹市消費生活センター

16ページ

- 《相談業務》 訪問・通信・電話勧誘販売等による売買・契約に関するトラブル、はがき、携帯電話、インターネットを使った不当・架空請求、その他消費生活全般、クーリングオフについての相談など
- 【場所】 大竹市小方一丁目11-1(大竹市役所内)
- 【受付時間】 火・金曜日 9時～12時、13時～16時
- 【電話】 57-3236(消費生活センター)

## 各施設のご案内

### 大竹市地域包括支援センター

26ページ

- 《事業内容》
- 要支援1・2と認定された方の介護予防プランの作成や基本チェックリストで生活機能の低下がみられた方の介護予防ケアマネジメント
  - 高齢者や家族に対する総合的な相談・支援事業(介護保険外のサービスを含む)
  - 高齢者に対する虐待の早期発見・防止、成年後見制度の活用などの高齢者の権利擁護事業
  - 関係機関や地域における連絡・協力体制の構築と支援困難事案のケアマネジャーへの支援

【場所】 大竹市西栄二丁目4-1(総合福祉センター(サントピア大竹)内)

【利用時間】 月～金曜日(祝日を除く)の8時30分～17時15分 【電話】 53-1165

### 広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援・合併型センター

26ページ

- 《事業内容》
- 玖波地区にお住まいの方の介護保険に関することや高齢者に関するさまざまな相談の受付、対応
  - 認知症に関する総合的な相談受付、対応
  - 認知症に関する総合的・専門的な診断、治療
  - 認知症初期集中支援チームによる認知症の方(認知症の疑いのある方を含む)及びその家族の初期段階における包括的・集中的な支援

【場所】 大竹市玖波五丁目2-1(メープルヒル病院内)

【利用時間】 月～土曜日(祝日を除く)の8時30分～17時30分 【電話】 57-7461

# ◇問い合わせ先一覧◇

令和4年2月21日現在

総務部	
総務課 《Eメール》	総務係 59-2120
	職員秘書係 59-2122 soumu@city.otake.hiroshima.jp
危機管理課 《Eメール》	保安防災係 59-2119 kikikanri@city.otake.hiroshima.jp
企画財政課 《Eメール》	企画係 59-2125
	財政係 59-2121
	情報広聴係 59-2124 kikaku@city.otake.hiroshima.jp
産業振興課 《Eメール》	農林水産振興係 59-2130
	商工振興係 59-2131 sangyo@city.otake.hiroshima.jp

市民生活部	
自治振興課 《Eメール》	自治振興係 59-2142
	人権推進係 59-2145 jichishinko@city.otake.hiroshima.jp
市民税務課 《Eメール》	収税係 59-2127
	市民税係 59-2128
	固定資産税係 59-2129
	戸籍住民係 59-2143 shiminzeimu@city.otake.hiroshima.jp
環境整備課 《Eメール》	環境整備係 59-2154
	kankyo@city.otake.hiroshima.jp
	リサイクルセンター 52-5101 kankyo-rc@city.otake.hiroshima.jp

【代表電話】 59-2111  
 【FAX】 57-7130(本庁)  
 【Eメールアドレス(代表)】 info@city.otake.hiroshima.jp  
 【ホームページアドレス】 http://www.city.otake.hiroshima.jp

健康福祉部	
福祉事務所	
地域介護課 《Eメール》	福祉総務係 59-2152
	介護高齢者係 59-2144
	地域支援係 28-6226 chiikikaigo@city.otake.hiroshima.jp
福祉課 《Eメール》	障害福祉係 59-2146
	児童係 59-2148
	保護係 59-2147 fukushi@city.otake.hiroshima.jp
保健医療課 《Eメール》	国保年金係 59-2141
	保健予防係 59-2140
	健康増進係 59-2153
	hokeniryo@city.otake.hiroshima.jp

建設部	
監理課 《Eメール》	庶務係 59-2160
	用地係 59-2161 kanri@city.otake.hiroshima.jp
土木課 《Eメール》	管理係 59-2163
	維持係 59-2164
	工務係 59-2165
	doboku@city.otake.hiroshima.jp
都市計画課 《Eメール》	計画整備係 59-2167
	建築住宅係 59-2168 toshikei@city.otake.hiroshima.jp

教育委員会事務局	
総務学事課 《Eメール》	教育総務係 59-2184
	教育指導係 59-2185
	こども相談室 54-0021
	給食センター 57-7626 sougaku@city.otake.hiroshima.jp
生涯学習課 《Eメール》	社会教育係 53-5800
	28-5680
	施設スポーツ係 53-6677 seigaku@city.otake.hiroshima.jp

消防本部 《Eメール》	53-7708 shoubou@city.otake.hiroshima.jp
選挙管理委員会事務局 《Eメール》	59-2188 senkyo@city.otake.hiroshima.jp

監査事務局 《Eメール》	59-2189 kansa@city.otake.hiroshima.jp
農業委員会事務局 《Eメール》	59-2190 sangyo@city.otake.hiroshima.jp

上下水道局 《Eメール》	業務課 総務係 59-2193
	営業係 59-2191
	工務課 上水道係 59-2192
	下水道係 59-2194 jougesui@city.otake.hiroshima.jp

議会事務局 《Eメール》	議事係 59-2183 gikai@city.otake.hiroshima.jp
-----------------	----------------------------------------------

会計課 《Eメール》	会計係 59-2182 kaikai@city.otake.hiroshima.jp
---------------	-----------------------------------------------